

由利本荘市スポーツ振興計画

～スポーツを通して

「健康で笑顔あふれる地域づくり」

を目指す～



計画期間：平成28年度～平成36年度

平成28年9月

由利本荘市教育委員会

目 次

第1章 由利本荘市スポーツ振興計画策定にあたって	
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
第2章 由利本荘市におけるスポーツの現状と課題	
1 現状	3
2 課題	7
第3章 計画の基本的な目標と方針	
1 基本目標	7
2 基本方針	7
第4章 計画の基本的な施策	
1 スポーツによる地域づくりの推進	8
（1）スポーツ立市	
（2）スポーツによる地域づくり	
（3）スポーツ活動に関する情報発信	
2 生涯スポーツや健康づくりの推進	9
（1）チャレンジデーの推進	
（2）地域の特性を活かした活動の推進	
（3）健康づくりの推進	
（4）学校体育の充実と子どもの体力向上	
（5）総合型地域スポーツクラブの支援と育成	
3 競技スポーツの振興	10
（1）体育協会への支援	
（2）スポーツ少年団への支援	
（3）競技団体や関係機関との連携	
4 指導者の養成	11
（1）各分野・各種目の指導者養成	
（2）スポーツ推進委員会との連携	
5 スポーツ施設の整備	11
（1）活動拠点施設の環境整備	
（2）由利本荘アリーナの活用	
6 トップスポーツへの支援と連携によるスポーツ振興	12
（1）プロスポーツ選手等の活動支援	
（2）プロスポーツチーム等との連携	
第5章 伝統あるスポーツの継承と新たな発展	
1 伝統あるスポーツの継承	13
（1）「ソフトボールのまち」として	
（2）「ボートのまち」として	
（3）「バレーボールに夢を託して」	
（4）「剣道～歴史的遺産を継承して～」	
（5）「駅伝競走大会～たすきをつないで～」	
（6）「鳥海山～地域のシンボルとして～」	
2 新たな取組と発展	15
（1）「チャレンジデー～地域の一体感の醸成～」	
（2）「インターバル速歩～健康への第一歩～」	
（3）「(仮称) 由利本荘市アリーナ～魅力あふれる賑わいの創出～」	
由利本荘市スポーツ振興計画体系図	16
資料編	
1 由利本荘市スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート結果	18
2 由利本荘市小・中学生新体力テスト結果（H27）	24
3 由利本荘市社会体育施設及び関連施設	25
4 由利本荘市内の主な施設利用者数の推移	32
5 由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）	33
6 由利本荘市スポーツ振興計画策定委員名簿	34
7 由利本荘市スポーツ振興計画策定の経過	35

第1章 由利本荘市スポーツ振興計画策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的

スポーツは、「世界共通の人類の文化」であり、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等のために行われる運動競技やその他の身体活動であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの（スポーツ基本法）」と定義されます。

今後、スポーツ振興の推進にあたっては、少子高齢化の進行や厳しい財政状況、地域コミュニティや人間関係の希薄化などの社会・経済状況の変化、市民のスポーツに対する志向やニーズの多様化などに的確に対応する必要があります。

このような中、国においては、平成23年8月に「スポーツ振興法」を改正した「スポーツ基本法」が施行され、スポーツに関する基本理念が定められました。

この法律に基づき、国は「スポーツ基本計画」を策定し、平成27年10月に、スポーツ行政の関係機構を一本化した「スポーツ庁」を新設して、スポーツに関する施策を総合的に推進する体制強化を図りました。

県では、今後も「スポーツ立県あきた」の具体化に向けた取組をさらに推進するために、県民をはじめ、市町村、学校、関係機関・団体、企業、メディア等、それぞれの立場で主体的な取り組みを進めるよう求めています。

由利本荘市においては、新たなまちづくりを実現する総合的な長期計画として、平成27年度から10年間を見据え、由利本荘市総合計画「新創造ビジョン」を策定し、その中で「スポーツを通して躍動と活力あふれるまちづくり」に取り組み、市民のだれもが継続的にスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりを推進し、個々のライフスタイルに合わせて、「いつでも、どこでも、いつまでも」生活の一部として、スポーツに関わることができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

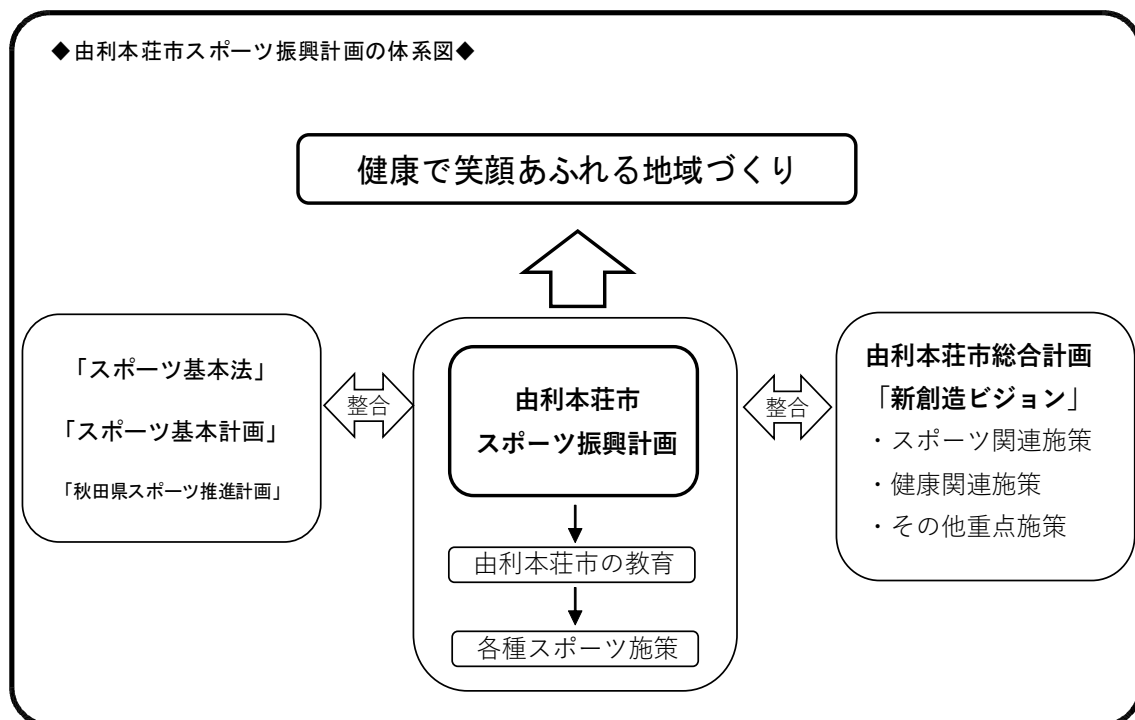
この計画は「新創造ビジョン」を踏まえ、スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、スポーツの振興を総合的に進めるための基本的な考え方を示すものとして、平成28年度を初年度とする「由利本荘市スポーツ振興計画」と称して策定するものです。

また、本計画の策定においては、平成28年度に「スポーツ立市宣言」を行うにあたり、建設中の（仮称）由利本荘アリーナを拠点として、市民との協働のもと、さらなるスポーツの振興とスポーツを取り巻く環境の整備充実を目指します。

2. 計画の位置づけ

「由利本荘市スポーツ振興計画」は、スポーツ基本法第10条に基づく計画で、国の「スポーツ基本計画」の内容を踏まえるとともに、「秋田県スポーツ推進計画」「スポーツ立県あきた」推進プランが示す施策との整合性を保ちつつ、本市の実情に合わせて策定する本市の主体的取り組みとして、由利本荘市総合計画「新創造ビジョン」に示すスポーツ振興の基本政策に基づいた基本的な計画です。

なお、本計画における「スポーツ」とは、スポーツ・レクリエーション活動など、幅広い意味でのスポーツ活動を総称した表現として用いています。



3. 計画の期間

本計画の期間は、本市の新たなまちづくりを実現するための総合的な長期計画の「新創造ビジョン」を踏まえて、平成28年度から、平成36年度までの9年間として計画しております。

なお、この期間中、進捗状況や社会情勢の変化に応じて見直しを行い、必要に応じて計画を変更し充実を図って参ります。

第2章 由利本荘市におけるスポーツの現状と課題

1. 現状

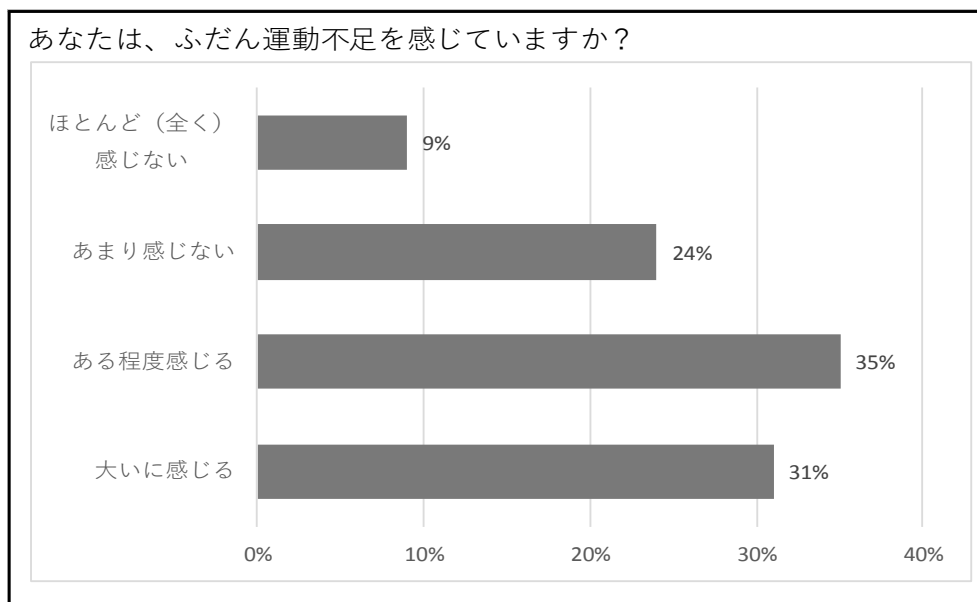
本市のスポーツにおいては、ボートや柔道をはじめ、バレーボール、ソフトボール、ボクシング、弓道などで、本市出身者や市内高等学校が全国大会等の舞台や中央で輝かしい功績を残し、市民や地域に大きな夢や希望をもたらしています。また、この中からオリンピック選手や世界で活躍する選手なども輩出しています。

市民スポーツにおいては、地域の特性や環境を活かした市民ボート大会やソフトボール大会、冬季にはスキー大会、また、地域住民参加型の生涯スポーツなどのスポーツイベントが行われています。

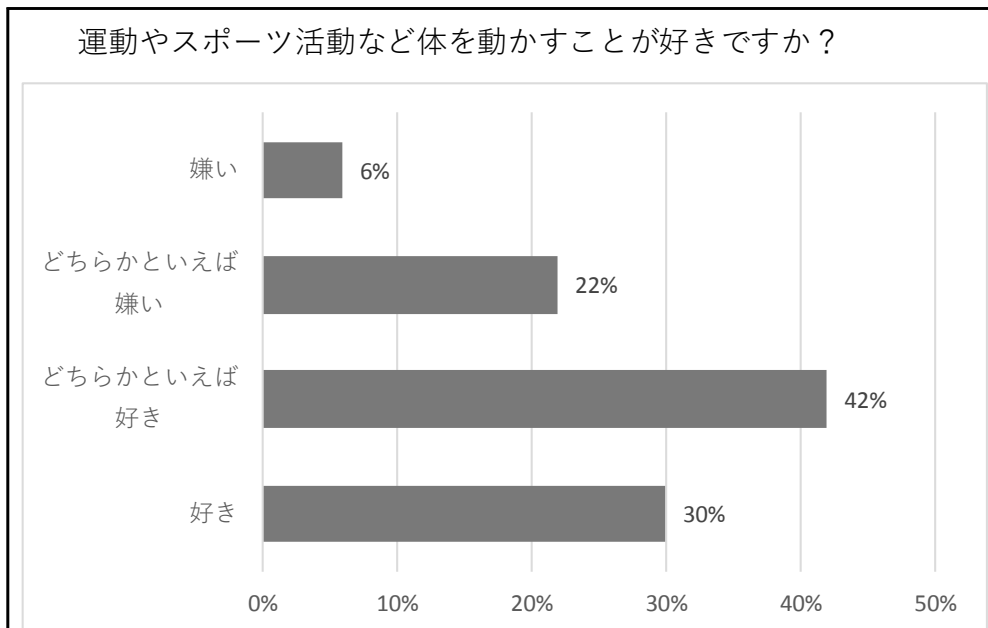
一方、本市のスポーツを取り巻く現状として、スポーツ少年団員の減少、指導者不足や高齢化、競技人口の減少などは、人口減少社会と少子高齢化の進展による、経済規模の縮小、労働力人口の減少、担い手不足による地域活力や地域機能の低下などに起因しているものと考えられます。

平成27年度に実施した「運動やスポーツに関する市民アンケート」で、過去1年間に行った運動やスポーツの頻度、目的、種目などについて調査を行いました。

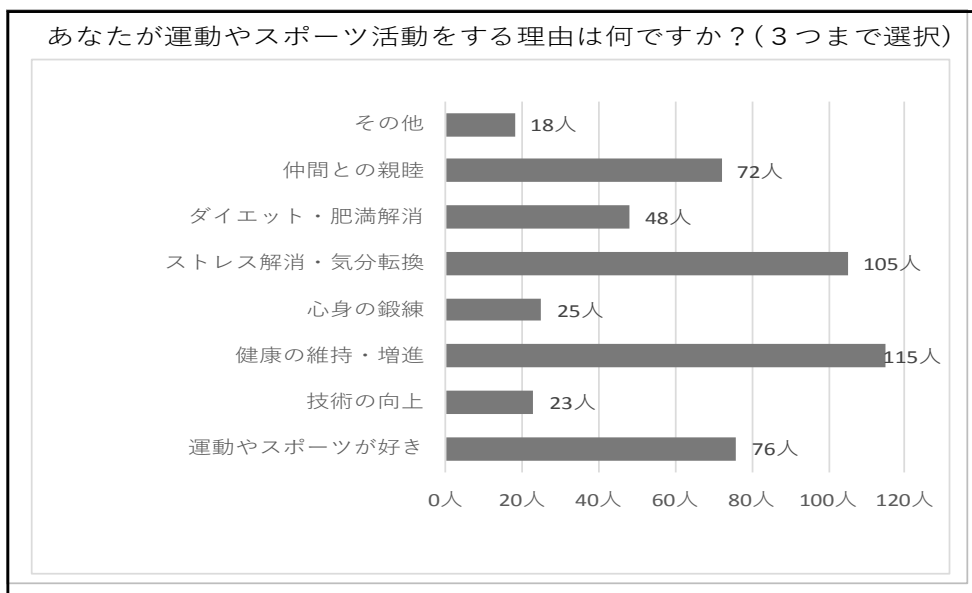
- (1) 運動不足についての質問では「大いに感じる」31%、「ある程度感じる」35%と、ふだん運動不足を感じている人は合わせて66%でした。



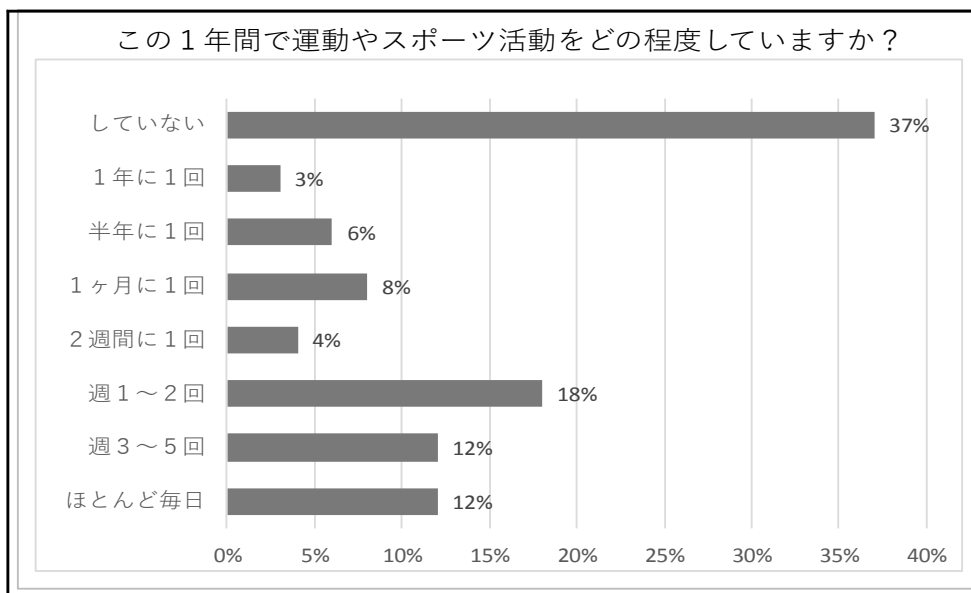
(2) スポーツが好きかどうかの質問では、「好き」が30%、「どちらかといえば好き」と答えた人が42%でした。



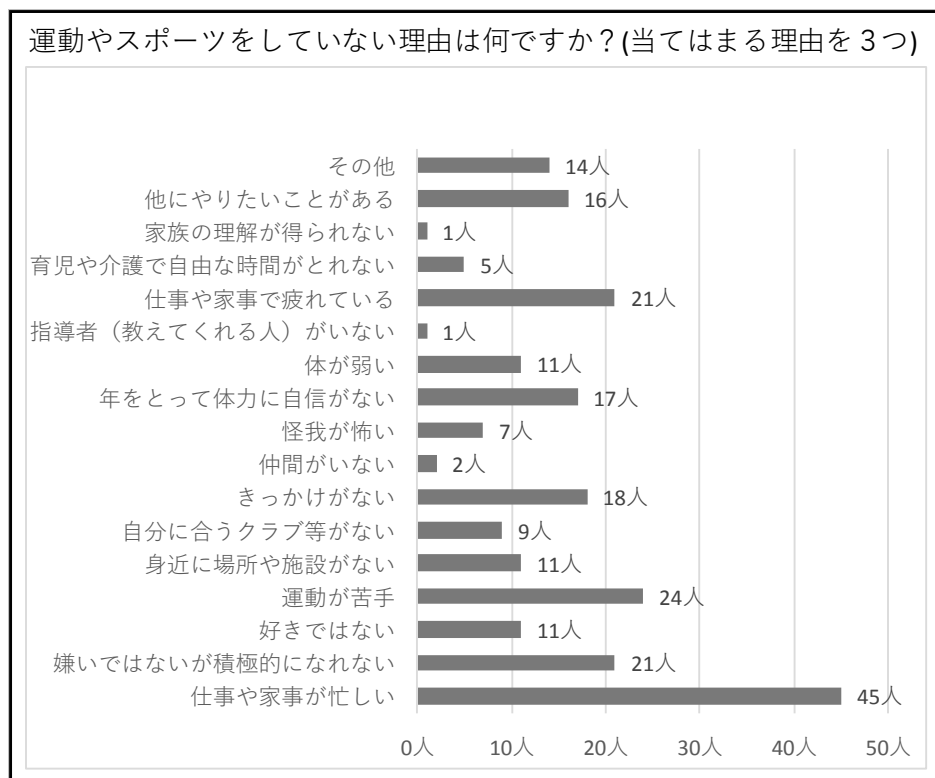
(3) スポーツをする理由については、「健康維持や増進」と回答した人が最も多く115人、次に「ストレス解消や気分転換」が105人、他にもスポーツが好き、仲間との親睦、ダイエットのためと答えています。



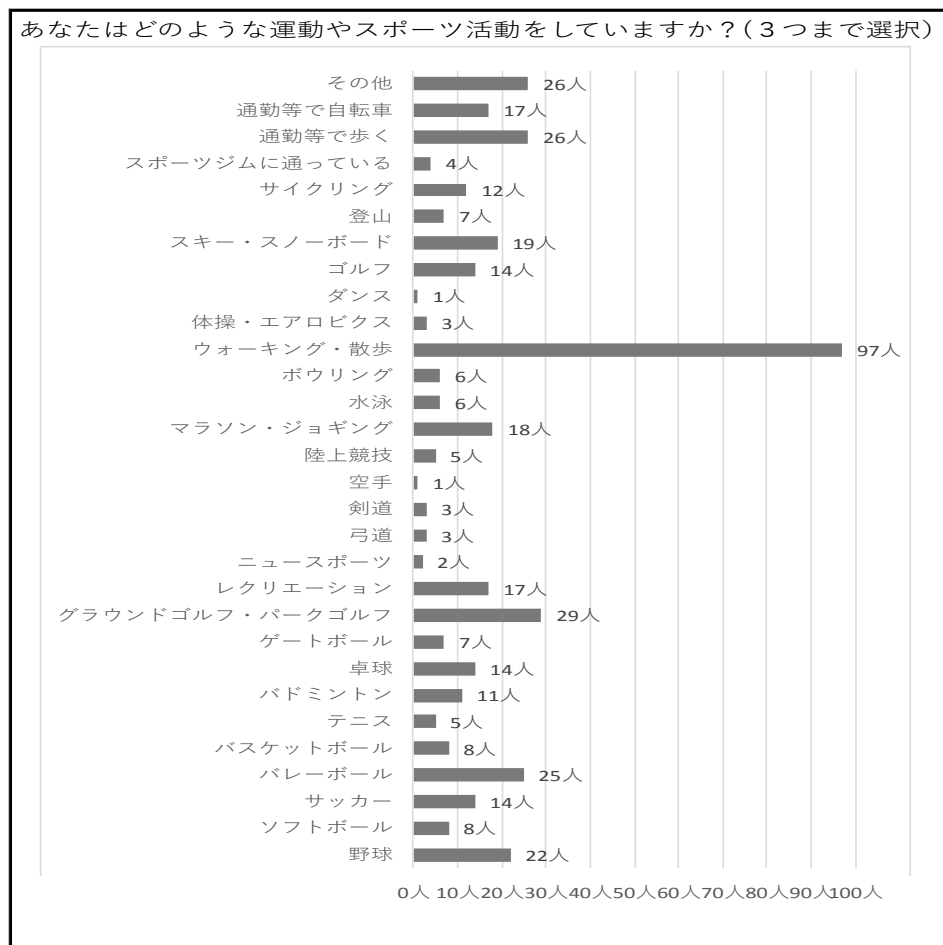
(4) スポーツの頻度についての項目では、過去1年間に「運動をしていない」と答えた人が37%でした。



(5) スポーツをしていない人に、その理由を質問したところ、「仕事や家事が忙しい」と答えた人が45人でした。



(4) スポーツをしている人に、どのようなスポーツをしているか質問したところ、「ウォーキング・散歩」「通勤等で歩く」といった『歩くこと』に関連した回答が最も多くなりました。



アンケートからは、スポーツをすることは好きだが、仕事や家事が忙しくてスポーツをする頻度は少なく、運動不足を感じている人が多いことがわかりました。

一方、スポーツをしている人は、身近なところで健康維持やストレス解消等を目的として、ウォーキングや散歩などを行っている人が多いことがわかりました。

スポーツの種目については、グラウンドゴルフやパークゴルフ、バレーボール、野球、スキー・スノーボード、ジョギングやマラソン、など多くの種目に取り組んでいることがわかりました。



2. 課題

健康の維持やストレス解消などを目的に、ウォーキングや散歩など、身近なところで気軽にできるスポーツをしている人が多いことから、生涯スポーツを推進し、運動不足の解消、子どもや高齢者、また、障がいを持つ方の活動支援や場所の提供、スポーツに関する情報提供、指導者の養成、健康相談や介護予防に関する情報の提供など、市民一人ひとりが生活の中にスポーツを位置づけ、生涯にわたって健康づくりや体力づくりなどを通し、生きがいつくりや仲間づくり、地域の活性化に結びつくような、豊かなスポーツライフを実現するための環境づくりが重要な課題となっています。

第3章 計画の基本的な目標と方針

1. 基本目標

本市における現状や課題を踏まえ、「する」、「観る」、「支える」スポーツの振興に取り組み、「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、市民のだれもが、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりや情報提供など、生涯スポーツ社会の実現と、スポーツによる地域の活性化を促進します。

学校と地域における子どもや高齢者また、障がいを持つ方のスポーツ機会の充実を目指すとともに、ジュニア期からのスポーツ競技力の向上を促進するため、関係団体等と連携し指導者等の充実を図り、スポーツ立市の実現に向けて、健康で元気なまちづくりを推進します。

2. 基本方針

スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」のために、全ての世代において、スポーツに親しみ楽しめる環境づくりに努めながら、市民と一体となってスポーツ振興を推進し、市民自らが生活の一部として積極的にスポーツに親しみ、市民が主役の「スポーツ立市」を目指します。

平成25年度から参加している「チャレンジデー」を契機として、市民のスポーツに対する関心を一層高めるとともに、楽しく一斉に運動を行うことによって地域住民の一体感を醸成し、ひいては心身ともに健康な生活が送られるよう、今後も継続的に取り組みます。

「するスポーツ」、「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」を主要施策として、市民一人ひとりが主体的にスポーツに親しみながら、健康づくりや体力づくり、生きがいつくりに取り組み、地域の活性化や仲間づくりに結びつくような、豊かなスポーツライフの実現を目指します。

市民一人ひとりが生涯にわたり、体力づくりや健康づくり、賑わいの創出など、それぞれが目的に応じて継続的に楽しめる環境づくりとして、(仮称)由利本荘アリーナを中核的拠点施設として位置付けるとともに、プロスポーツなどのハイレベルな試合や大規模なスポーツイベント等において、観るスポーツの醍醐味と感動を多くの人に伝えることでスポーツツーリズムの醸成に努め、地域経済の活性化や賑わいの創出を目指します。

第4章 計画の基本的な施策

1. スポーツによる地域づくりの推進

(1) スポーツ立市

スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、スポーツ立市宣言を行い、市民すべての世代においてスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりに努めながら、市民と一体となってスポーツ振興を積極的に推進し、生涯スポーツ・競技スポーツはもちろんのこと、健康づくり・体力づくりに、市民自ら活発に取り組むことで、スポーツを生活に取り入れ、豊かな地域づくりを目指します。

(2) スポーツによる地域づくり

これまで各地域において行われてきた、各種スポーツイベントを今後も継続することで、地域住民のスポーツや健康への関心をさらに高め、体力づくりや健康づくりに親しみながら、イベントに参加することでスポーツに触れ、仲間づくりや生きがいづくりに繋げ、地域との関わりの中でコミュニティーの構築を図るとともに、スポーツ大会やイベント等の運営や、参加者を支える人材の育成を推進し、スポーツボランティア登録ができるような体制整備を推進します。

(3) スポーツ活動に関する情報発信

市内で活動する団体やサークル、町内会などで行われるイベントの予定や結果など、地域の身近なスポーツ活動に関する情報をホームページなどを活用し発信できる体制の整備を図ります。

2. 生涯スポーツや健康づくりの推進

(1) チャレンジデーの推進

市民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に継続して参加し、職場や学校、自治会やサークルなど、全市一斉に行うことで、スポーツに接する機会を創出し、全市民にスポーツを通して健康に対する意識付けと、運動習慣の浸透を図るとともに、地域住民の一体感醸成に努めます。

◆チャレンジデー参加率の推移（実施日：5月最終水曜日）

実施日	H25.5.29	H26.5.28	H27.5.27	H28.5.25
本市参加率	58.3%	69.4%	81.5%	82.8%
勝敗	○	●	○	○
対戦相手	愛知県碧南市	山梨県甲斐市	香川県丸亀市	兵庫県豊岡市
対戦相手参加率	50.5%	73.4%	57.2%	82.6%



(2) 地域の特性を活かした活動の推進

山・川・海をあわせ持つ本市の特徴的な自然環境や、季節ごとに地域の特性を活かすことで、日本海でのセーリング、子吉川でのボートやカヌー、鳥海山での登山やトレッキング、スキーなど、年間を通してスポーツに親しむことができることから、生涯スポーツやレクリエーション活動の普及や促進のため、スポーツ推進委員やスポーツ関連団体等と連携しながらスポーツ教室やイベントなどを開催し、地域特性を活かした活動の推進を図ります。

(3) 健康づくりの推進

健康維持やストレス解消等を目的としてウォーキングの人気の高まる中、(仮称)由利本荘アリーナを核とした「健康の駅」を新設し「インターバル速歩」の普及を中心に健康管理部門等と連携し、介護予防・健康増進プログラムの開発など、市民の体力づくりや健康づくり活動の支援に取り組みます。

また、高齢者自らが積極的に楽しめる生涯スポーツの機会や環境づくりを推進し、健康で明るい社会生活を送れるよう努めるとともに、障がいのある人がスポーツに親しみ、いつまでも心身ともに充実した生活を送れるよう活動を支援します。

(4) 学校体育の充実と子どもの体力向上

小中学校での学校体育活動を通して、基礎的な体力・運動能力を身につけ、スポーツの楽しさを実感することにより、子どもの心身の健康をはぐくみ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくりと、新体力テストでは県平均を上回るよう児童生徒の体力向上に努めます。

(5) 総合型地域スポーツクラブの支援と育成

国や県では、総合型地域スポーツクラブを生涯スポーツ社会の実現に向けた重要施策としており、学校と地域の連携や健康増進、体力向上等に寄与できるよう、地域住民が主体的に取り組むスポーツ活動を推進することにより、スポーツを通して地域コミュニティの中心的存在として充実・発展するよう、全国の市町村に展開しようとする取り組みが進められていることから、市内4つの既存総合型地域スポーツクラブの支援を継続するとともに、各地域単位に1クラブの新規設立を目指し関係機関と連携しながら育成支援を図ります。

◆総合型地域スポーツクラブ設立状況（平成28年8月20日現在）		
地域名	クラブ名	設立年月日
本 荘 地 域	尾崎スポーツクラブ	平成15年3月14日
	石脇スポーツクラブ	平成26年3月8日
矢 島 地 域	【 設立準備委員会 】	平成30年度設立に向け準備中
岩 城 地 域		
由 利 地 域		
大 内 地 域	SPORTS・POPORO	平成20年7月4日
東 由 利 地 域		
西 目 地 域	スポーツ健康クラブ西目	平成24年2月24日
鳥 海 地 域		

3. 競技スポーツの振興

(1) 体育協会への活動支援

体育協会への活動支援を継続し、加盟各競技団体や地域体育協会の組織強化を図り、各種事業を実施し、生涯スポーツ・競技スポーツの普及と競技力向上や指導者の育成について、中心的な役割を担えるようにするとともに、今後は自主的な運営や事業ができるような体制づくりを目指します。

（平成28年度加盟数：8地域支部と18の競技団体が加盟、加盟者数 9,585名）

(2) スポーツ少年団活動への支援

競技スポーツも含め、生涯スポーツなどの活動を通じて、喜びや楽しさを体験するとともに、仲間との連帯や友情を育て、協調性や創造性などを育み、心身ともに健全な育成を推進します。また、スポーツ少年団では中学生や高校生も活動することができることから、リーダー養成研修等の受講を推奨し、地域の指導者として活躍できるよう支援します。

子どもたちが将来も継続してスポーツ活動ができるよう努めるとともに、全国大会等出場費の補助を継続して行い、負担軽減及び活動の支援を図ります。

◆スポーツ少年団の登録状況の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
団 数	80	73	74	74	74
団 員 数	1,473	1,414	1,405	1,361	1,409
指 導 者 数	929	927	945	875	928

(3) 競技団体や関係機関との連携

多くの競技スポーツでは、小学生頃から競技を始め、中学校や高校での部活動等を経て競技力を習得し上達していく選手が多いことから、競技の特性を考慮した上で地域や学校、競技団体等が連携し、競技別の指導者講習会を行うなど、指導者の一貫した指導理念の基に選手を指導育成できる連携体制の構築を支援し競技力向上を目指します。

また、今後もインターハイや国体、各種全国大会等の出場費補助を継続して行い、活動の支援を図ります。

4. 指導者の養成

(1) 各分野・各種目の指導者養成

競技スポーツに限らず、スポーツの普及促進には、指導者の確保が重要であることから、体育協会やスポーツ推進委員会、スポーツ少年団など、各分野・各種目ごとの指導者の養成を図るとともに、一貫した指導理念の基に選手を指導育成できる体制の構築を支援します。

(2) スポーツ推進委員会との連携

スポーツ推進委員会と連携し、地域住民のニーズに応じた指導や、地域スポーツ活動のコーディネーターとしての人材を育成するため、各種研修会や他団体との指導交流等により資質の向上に努めるとともに、上部団体の研修会等へ積極的に参加することで、スポーツ振興に関わる情報把握とスポーツの推進役としてのスキルアップに繋げ、市民のスポーツ活動の促進を支援します。

5. スポーツ施設の整備

(1) 活動拠点施設の環境整備

各地域のスポーツやレクリエーション活動拠点となる、体育施設の利便性を高めるため、ニーズに応じながら環境整備を図るとともに、気軽に利用できる体制づくりを進めながら、施設の効果的かつ効率的な管理運営に努めます。

(2) (仮称) 由利本荘アリーナの活用

市民が体力づくりや健康づくりなど、誰もが、いつでも目的に応じて気軽に利用できる施設として、(仮称) 由利本荘アリーナを中核的拠点施設に位置付け、市民が季節を問わず活用できる地域コミュニティの場としての活用を目指し、賑わいの創出に努めます。

また、プロスポーツなどのハイレベルな試合や大規模なスポーツイベントなどを開催し、観るスポーツの醍醐味と感動を多くの人に伝えることができる、魅力ある施設として活用されるよう努めます。

6. トップスポーツへの支援と連携によるスポーツ振興

(1) プロスポーツ選手等の活動支援

本市出身のプロスポーツ選手等の応援態勢を構築し、その活動を支援するとともに、市民が郷土に対する誇りを持ち、一緒に応援することによって一体感の醸成を図ります。

また、本市のスポーツ振興の応援団として「スポーツ振興大使」を任命して本市の情報発信を積極的に行うことで、スポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化や賑わいの創出を目指します。

(2) プロスポーツチーム等との連携

バスケットボールやサッカーなどのプロチームや社会人野球チーム等と連携してスポーツ教室等を開催し、チーム主導による地域貢献活動を活用するなど、子どもたちが夢を持ってスポーツに親しむことができるよう、プロ選手等とのふれあいの場を多く提供するよう努めます。



第5章 伝統あるスポーツの継承と新たな発展

本市ではこれまで、国体をはじめとする全国大会の開催や、各地域で伝統を守り長年実施している大会等が数多くあり、今後も継承していくことが重要です。

また、(仮称) 由利本荘アリーナを核とした新たな事業展開のもと、チャレンジデーと合わせて、体力づくりや健康の保持増進、地域コミュニティの場として活用することで、生涯スポーツの推進や、魅力あふれる賑わいの創出に努めます。

1. 伝統あるスポーツの継承

(1) 「ソフトボールのまち」として

昭和36年の国体を契機として、ソフトボールが活発化し、昭和59年には全国高校総体が本市で開催されました。

平成18年には荒町にソフトボール場を新たに整備し、翌平成19年の国体開催をはじめ、全日本総合女子ソフトボール選手権、全日本総合男子ソフトボール大会を開催しています。

また、平成28年7月には元全日本女子ソフトボール監督の宇津木妙子氏を迎えてソフトボール教室を開催したほか、同年9月には日本スポーツマスターズ、平成29年9月にはねんりんピックのソフトボール競技も開催されます。

「ソフトボールのまち」として今後も講習会や全国大会等の招致を継続して参ります。



(2) 「ボートのまち」として

昭和55年に子吉川を会場に41クルーが参加し、第1回市民ボート大会を開催して以来、平成28年には37回目を数える大会として継続的に行われており、多くの市民に親しまれています。

平成8年5月12日にボートプラザ「アクアパル」の完成を記念して「早慶レガッタ」を招致し、迫力のあるレースに多くの人が魅了されました。

また、平成7年9月には全国23市町村が参加し、第4回全国市町村交流レガッタを開催しました。その大会が、平成29年に第26回大会として本市で22年ぶりに開催されます。

市内の中学生や高校生が毎年のように東北大会や全国大会に出場し好成績を残していることから、2回目の開催となる全国市町村交流レガッタ由利本荘大会では全国に「ボートのまち由利本荘」をPRする絶好の機会として取り組んで参ります。



(3) 「バレーボールに夢を託して」

本市では、バレーボール女子日本代表としてバルセロナやアトランタオリンピックに主力として出場した山内美加（現：藤本美加）氏を輩出しており、出身校の由利高校はインターハイや春高バレーに連続出場を誇る強豪校として活躍を続けています。

また、由利高校の全県高校総体11連覇の偉業を成遂げた、元監督の原田重充氏の指導により平成元年から開催している原田記念東北中学校選抜バレーボール大会は、毎年県内外から16校が参加して行われています。



(4) 「剣道～歴史的遺産を承継して～」

亀田出身で明治時代に「日本武徳会」創立者の一人である、鳥海弘毅氏の意志を引き継ぎ、半世紀を超える歴史のある「鳥海弘毅顕彰剣道大会」を多くの参加者を迎え、毎年開催しております。

また、ふるさと応援大使の石沢出身で国際武道大学剣道部長の井島章氏は本市で剣道教室を開催しているとともに、多くの少年剣士たちに全校武道を実施するなど、技術指導を通して武道の精神を伝えています。



(5) 「駅伝競走大会～たすきをつないで～」

昭和36年に日本海と太平洋を繋ぐ遠大な計画として、秋田・岩手両県の経済や文化の交流と発展を目的に始まった「奥羽横断駅伝競走大会」は50年以上続く歴史の中で、多くのドラマと感動を生み出して来ました。

第2回大会からは本市が参加、また、第3回大会にはコースを本市まで延長し、現在の由利本荘市～横手市～北上市の区間となりました。

今後も、長い歴史の中で駆け抜けた選手たちの想いを未来へつなぐ駅伝競走大会として、関係自治体と連携しながら継続して参ります。



(6) 「鳥海山～地域のシンボルとして～」

市の南部にそびえる鳥海山は、古くから信仰の山として多くの人々を引きつけており、道路や登山道が整備され、多くの方々が登山などに親しんでいます。

冬は鳥海高原矢島スキー場でのスキーやスノーボード、春には豊富な残雪を楽しむ、春山スキーの爽快感は格別なものがあります。

夏には恒例イベントとして山麓を舞台に行われている、Mt. 鳥海バイシクルクラシックは30回の開催を数え、毎回1,500人を超える参加者を、地元スタッフ約200人が支える大会として出場者に好評を得ています。

全国のサイクリストが鳥海山の麓に集い、健脚を競い合う場として今後も開催して参ります。

2. 新たな取組と発展

(1) 「チャレンジデー～地域の一体感の醸成～」

市民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に参加し、職場や学校、地域などで一斉に行うことで地域住民の一体感の醸成と運動習慣の浸透を図ります。

平成25年度参加率58.3%、平成26年度参加率69.4%、平成27年度参加率81.5%、平成28年度参加率82.8%と毎年参加率が増加しています。



(2) 「インターバル速歩～健康への第一歩～」

健康維持やストレス解消等を目的としてウォーキング人気のが高まりの中で、「インターバル速歩」の普及を核として、(仮称)由利本荘アリーナを健康に関する指導や相談を受けられる、「大規模健康の駅」と位置づけるとともに、健康の駅ネットワークを構築し、介護予防・健康増進プログラムの開発など、市民の体力づくりや健康づくり活動の支援に取り組みます。



(3) 「(仮称) 由利本荘アリーナ～魅力あふれる賑わいの創出～」

市民が体力づくりや健康づくりなど、誰もが、いつでも目的に応じて気軽に利用できる施設として、(仮称)由利本荘アリーナを屋根付グラウンドとあわせて、中核的拠点施設に位置付け、年間を通して活用できる地域コミュニティーの場として賑わいの創出に努め、地域の活性化を促進します。

施設のスケールメリットを活かし、プロスポーツなどのハイレベルな試合や大規模なスポーツイベントなどを開催することで誘客を図り、観るスポーツの醍醐味と感動を多くの人に伝えることができる、魅力ある施設として活用されるよう努めて参ります。

由利本荘市スポーツ振興計画体系図

第1章

「スポーツ基本法」
「スポーツ基本計画」
「秋田県スポーツ推進計画」

整合

由利本荘市
スポーツ振興計画

整合

由利本荘市総合計画
「新創造ビジョン」
「スポーツ関連施策」
「健康関連施策」
「その他重点施策」

スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指す

第2章

現状

本市のスポーツは、ボートや柔道をはじめ、バレーボール、ソフトボールなどで、全国大会等で輝かしい功績を残し、市民に大きな夢や希望をもたらしている

市民スポーツでは、地域の特性や環境を活かした市民スポーツ大会や地域住民参加型の生涯スポーツなどが行われているが、人口減少と少子高齢化によるスポーツ少年団や指導者が減少している

市民アンケートでは、運動することは好きだが、仕事や家事が忙しくて運動する頻度が少なく、運動不足を感じている

子どもや高齢者の活動場所、スポーツ教室やイベントの開催、スポーツに関することと健康づくりの情報提供を望んでいる

課題

生涯スポーツを推進し、運動不足の解消と子どもや高齢者、障がい者の活動支援と場所の提供、スポーツに関する情報の提供と指導者の養成

健康相談や介護予防に関する情報の提供

市民が生活の中にスポーツを位置づけ、健康づくり体力づくりを通して、生きがいづくりや仲間づくり、地域の活性化に結び付け、豊かなスポーツライフが実現できる環境整備

第3章

基本目標

「する」・
「観る」・
「支える」

市民のだけれども、いつでもどこでもいつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりや、情報提供など、生涯スポーツ社会の実現と地域の活性化を促進する

子どもや高齢者、障がい者のスポーツ機会の充実とジュニア期からの競技力の向上を促進する

基本方針

市民自らが生活の一部として積極的にスポーツに親しみ、市民が主役の「スポーツ立市」を目指す

市民が主体的にスポーツに親しみながら、健康づくりや体力づくり、生きがいづくりに取り組み、地域の活性化や仲間づくりに結び付け豊かなスポーツライフの実現を目指す

(仮称)由利本荘アリーナを体力づくりや健康づくり、賑わいの創出の中核的拠点施設と位置づけ、プロスポーツなどのハイレベルな試合や大規模なスポーツイベントで観るスポーツの醍醐味や感動を伝えることで、スポーツツーリズムに繋げ地域経済の活性化や賑わいの創出を目指す

基本的な施策

1. スポーツによる地域づくりの推進

2. 生涯スポーツや健康づくりの推進

3. 競技スポーツの振興

4. 指導者の養成

5. スポーツ施設の整備

6. トップスポーツへの支援と連携によるスポーツ振興

第4章

施策項目

(1) スポーツ立市
(2) スポーツによる地域づくり
(3) スポーツ活動に関する情報発信

(1) チャレンジデーの推進
(2) 地域の特性を活かした活動の推進
(3) 健康づくりの推進
(4) 学校体育の充実と子どもの体力向上
(5) 総合型地域スポーツクラブの支援と育成

(1) 体育協会への活動支援
(2) スポーツ少年団への活動支援
(3) 競技団体や関係機関との連携

(1) 各分野・各種目の指導者養成
(2) スポーツ推進委員会との連携

(1) 活動拠点施設の環境整備
(2) (仮称)由利本荘アリーナの活用

(1) プロスポーツ選手等の活動支援
(2) プロスポーツチーム等との連携

具体的施策

・健康で笑顔あふれる地域づくりを目指しスポーツ立市宣言を行い、市民すべての世代がスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりに努め、健康づくり・体力づくりに取り組むことでスポーツを生活に取り入れ、豊かな地域づくりを目指す

・各地域で長年行われてきた、各種スポーツイベントを継続し、スポーツや健康への関心を高め、イベントなどに参加することで地域コミュニティの構築を図りながら、スポーツボランティアの育成と登録体制の整備

・市内で活動する団体などで行われるイベントの予定や結果など、地域の身近なスポーツ活動の情報をホームページなどを活用し発信できる体制の整備

・スポーツに接する機会と地域住民の一体感の醸成に繋がる市民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」への参加を継続

・運動習慣の浸透を図るため、ミニチャレンジデーを毎月開催

・スポーツ推進委員と連携し、山・川・海の自然や地域の特性を活かしたスポーツマレクリエーション大会や教室の開催

・(仮称)由利本荘アリーナを核とした「健康の駅」を設置し、インターバル散歩の普及を中心に介護予防や健康増進プログラムの開発

・高齢者への生涯スポーツの機会づくりと、障がい者のスポーツ大会等の支援

・小中学校での体育を通して基礎的な体力・運動能力を身につける

・新体力テストでは、県平均を上回る体力向上を図る

・地域住民がスポーツ活動に主体的に取り組む、総合型地域スポーツクラブを市内の8地域毎に1クラブの設立の育成と支援

・体育協会への支援を継続し組織強化を図り、生涯スポーツ・競技スポーツの普及や競技力の向上と指導者の育成などの中心的役割を担い、自主的運営や事業ができる体制づくりの整備

・生涯スポーツなどの活動を通じて、心身ともに健全な育成を推進

・中学生や高校生も加入活動し、研修などを受講し将来の指導者育成

・子どもたちが継続してスポーツ活動ができるようスポーツ少年団員の全国大会等出場費補助の継続

・地域や学校、競技団体が連携し、競技別の指導者講習会を行うなど、一貫した指導理念の基に指導育成できる体制の構築

・全国大会等出場費補助の継続

・体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各分野・種目ごとの指導者を養成する体制の構築

・スポーツ推進委員が地域のコーディネーターとして積極的に研修会等へ参加しスキルアップを図れるような支援

・体育施設の利便性を高めるために、計画的な施設の環境整備

・体育施設の管理または運営委託による効果的かつ効率的な施設の管理

・(仮称)由利本荘アリーナを市民が目的に応じて気軽に利用できる中核的施設としての位置づけ

・プロスポーツ等ハイレベルなゲームやスポーツイベントなどを開催し、観るスポーツの醍醐味と感動を伝える魅力ある施設として、大規模大会等の招致と誘客

・本市出身のプロスポーツ選手等の活動を後押しする応援態勢の整備

・本市の情報を積極的に発信してもらうため、スポーツ振興大使の委嘱

・スポーツツーリズムの積極的な推進

・プロチーム等によるスポーツ教室の開催

・プロチーム等の地域貢献活動を活用し、子どもたちがプロ選手等とのふれあいの場の提供

第5章

伝統あるスポーツの継承と新たな発展

1. 伝統あるスポーツの継承

(1) 「ソフトボールのまち」として

- ・昭和36年の国体を契機として、ソフトボールが活発化し、全国高校総体や国体、全日本社会人大会を開催する
- ・平成28年には日本スポーツマスターズソフトボール教室と全国大会を開催する
- ・平成29年にねりんピックを開催し、今後も講習会や全国大会等の招致を継続して行く

(2) 「ボートのまち」として

- ・昭和55年に子吉川で第1回市民ボート大会を開催し、平成28年には第37回を数代市民に親しまれている
- ・平成8年にボートプラザアクアパルを整備する
- ・平成29年には2回目の会場となる全国市町村交流レガッタを開催し全国に「ボートのまち」をPRする

(3) 「バレーボールに夢を託して」

- ・バレーボール女子日本代表としてオリンピックに出場した山内美加(現・藤本美加)を輩出
- ・由利高校はインターハイや春高バレーに連続出場経験のある強豪校でバレー部元監督、原田記念東北中学校選抜バレー大会を開催している

(4) 「剣道・歴史的遺産を承継して」

- ・亀田出身で明治時代に日本武徳会の創設者の一人である鳥海弘毅氏の功績を讃え半世紀を超える歴史ある鳥海弘毅顕彰剣道大会を開催している
- ・ふるさと応援大使の石沢出身で国際武道大学剣道部部長の井島章氏は本市で剣道教室を開催し武道の精神を伝えている

(5) 「駅伝競走大会 ～たすきをつないで～」

- ・昭和36年に日本海と太平洋を結ぶ計画で始まった奥羽横断駅伝競走大会は、ドラマと感動の歴史を築いている
- ・第3回大会には本市の要望で本市まで延長し、現在の由利本荘～横手～北上の区間となり歴史の中を駆け抜けた想いを未来へつなぐ大会として継続して行く

(6) 「鳥海山 ～地域のシンボルとして～」

- ・鳥海山は古くからの信仰の山として親しまれており、多くの方が登山やスキー、スノーボード、春山スキーを楽しんでいる
- ・夏には、Mt.鳥海バイシクルクラシックが行われており、1,500人を超える参加者と地元スタッフ200人が支える大会を健脚を競う場として開催して行く

2. 新たな取組と発展

(1) 「チャレンジデー ～地域の一体感の醸成～」

- ・市民総参加型イベントのチャレンジデーに参加し、職場や学校、地域などで一斉に行うことで地域住民の一体感の醸成と運動習慣の浸透を図る

(2) 「インターバル散歩 ～健康への第一歩～」

- ・健康維持等を目的にインターバル散歩の普及を核とした(仮称)由利本荘アリーナを「健康の駅」の大規模駅とし健康の駅ネットワークの構築を図り、体力づくりや健康づくり活動を支援する

(3) 「(仮称)由利本荘アリーナ ～魅力あふれる賑わいの創出～」

- ・目的に応じて気軽に利用できる(仮称)由利本荘アリーナを屋根付グラウンドとあわせて、年間を通して活用できる地域コミュニティの場として賑わいの創出と、地域の活性化の促進を図る
- ・プロスポーツなどのハイレベルな試合や大規模イベントを開催し、観るスポーツの醍醐味と感動を伝える魅力ある施設として活用されるよう努める

資料編

- 1 由利本荘市スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート結果
- 2 由利本荘市小・中学生新体力テスト結果(H27)
- 3 由利本荘市社会体育施設及び関連施設
- 4 由利本荘市内の主な施設利用者数の推移
- 5 由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）
- 6 由利本荘市スポーツ推進計画策定委員名簿
- 7 由利本荘市スポーツ推進計画策定の経過



1 由利本荘市スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート結果

～ スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指す ～

国では平成23年にスポーツ基本法を50年ぶりに改正し、スポーツ基本計画を策定しました。由利本荘市においても、平成27・28年度の2カ年でスポーツ振興計画を策定することにいたしました。

この計画は、平成28年度から平成36年度までの9カ年において、市が進めていくべきスポーツ振興について、どのように取り組んでいけばよいのかを調査することを目的に、およそ1,000人の方々を抽出しアンケートをお願いしました。

アンケート結果から、スポーツをすることが好きだという人は70%を超え、時間や施設の問題等が解決すれば、80%以上がスポーツ活動をしたいと考えていることがわかりました。

また、今後のスポーツ振興には、子ども達や高齢者のための活動や、スポーツ教室・大会・イベントの充実等を期待しているようです。

他にも、平成30年完成予定の（仮称）由利本荘アリーナの活用に、60%の方々が期待しているという現状を把握することができました。

アンケート対象者数の条件等

1. アンケート調査依頼対象者数の条件

- (1) 調査依頼対象者数 市内在住の約1,000人を想定
- (2) 調査対象者抽出条件
 - ア. 地域別数 本荘地域は約300人、他の7地域は各約100人
 - イ. 男女比率 同率
 - ウ. 年代別比率 10代～80代までの年代別に同率とする
- (3) 上記ア～ウを条件として、全体で992人を抽出

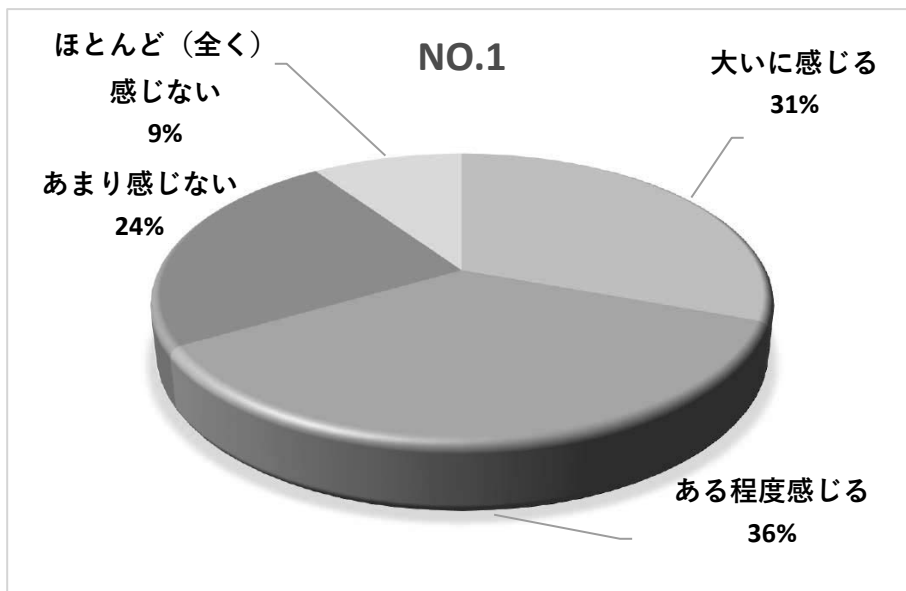
地域別対象者数は表のとおり

地域	本荘	矢島	岩城	由利	大内	東由利	西目	鳥海	合計
人数	320	96	96	96	96	96	96	96	992

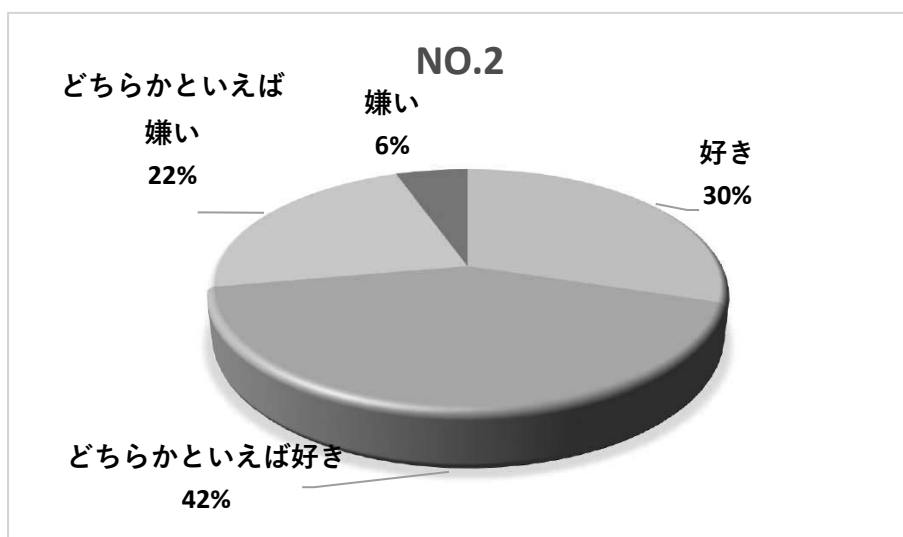
2. アンケート調査の期間・回答者数等

- (1) 実施期間 平成28年3月14日～平成28年4月20日
- (2) 回答者数 368人
- (3) 回答率 37.1%

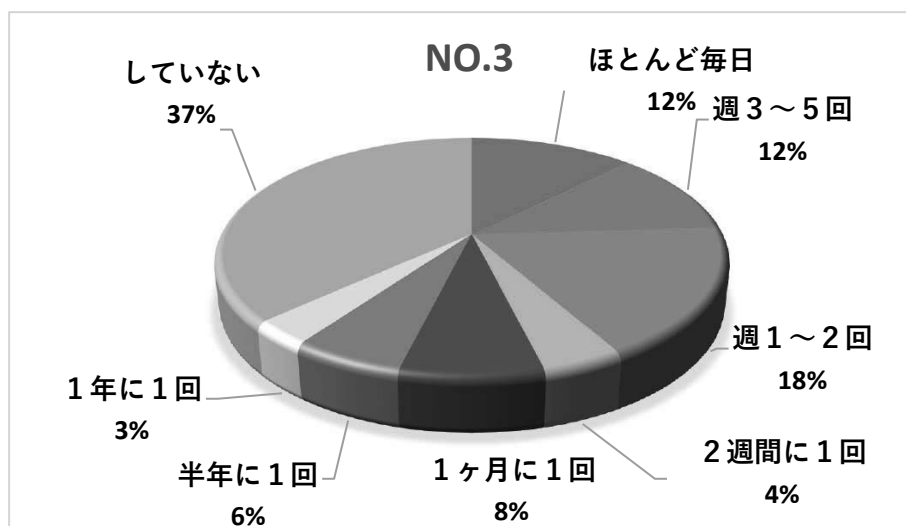
No.1 あなたは、ふだん運動不足を感じていますか？



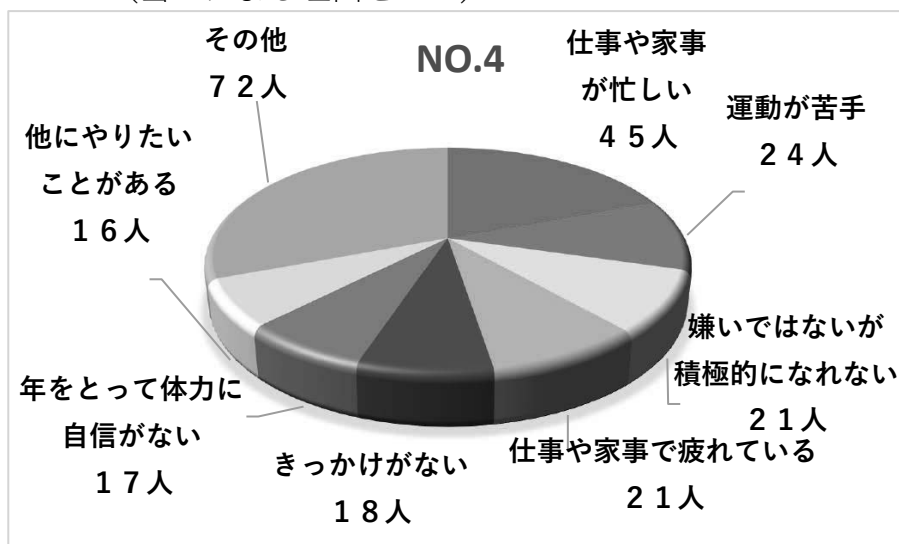
No.2 運動やスポーツ活動など体を動かすことが好きですか？



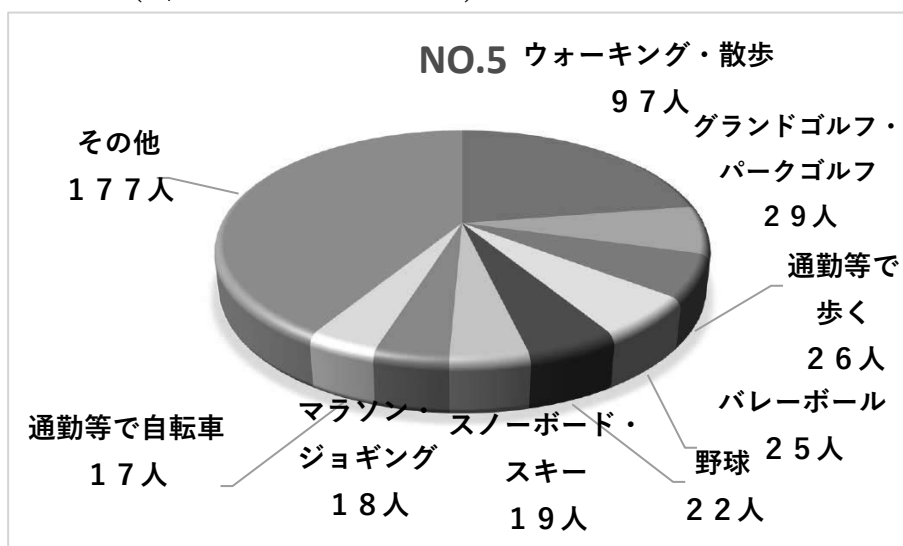
No.3 この1年間で運動やスポーツ活動をどの程度していますか？



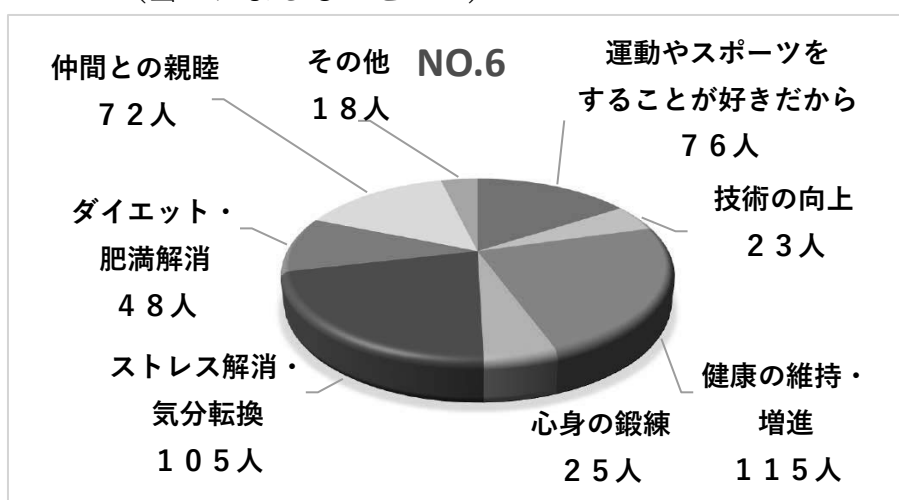
No.4 No.3で「していない」と回答された方にお尋ねします。
 あなたが運動やスポーツ活動をしてない理由は何ですか？
 (当てはまる理由を3つ)



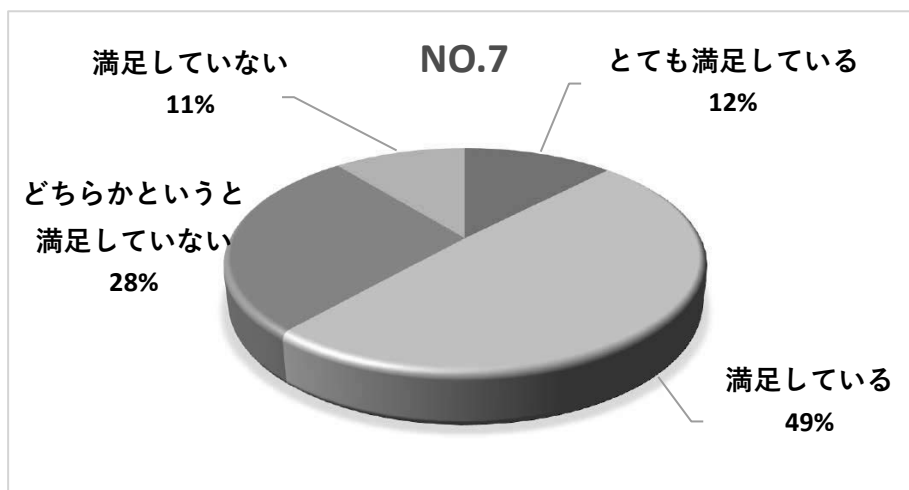
No.5 あなたはどのような運動やスポーツ活動をしていますか？
 (当てはまるものを3つ)



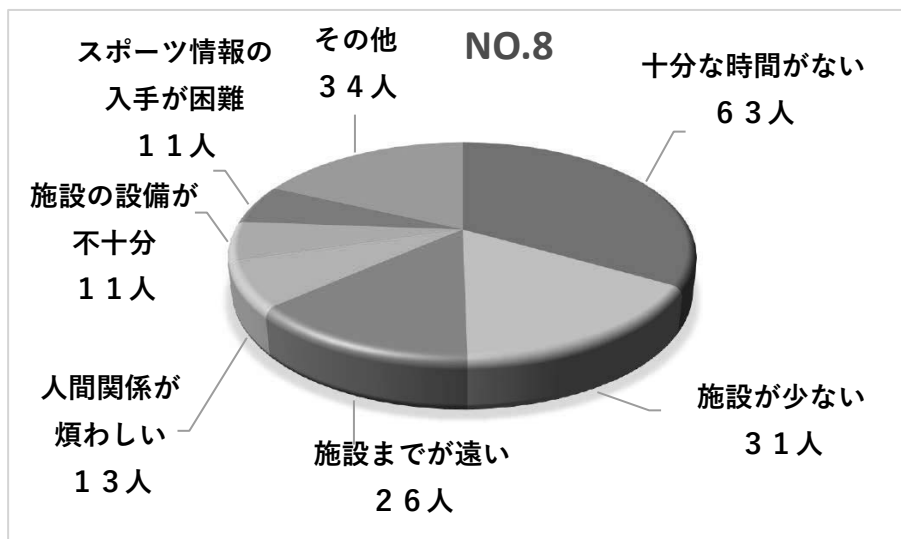
No.6 あなたが運動やスポーツ活動をする理由は何ですか？
 (当てはまるものを3つ)



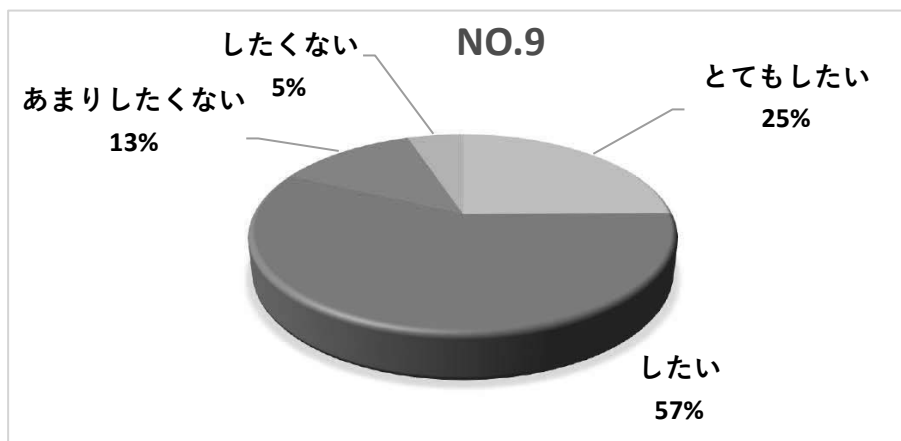
No.7 あなたは現在行っている運動やスポーツ活動に満足していますか？



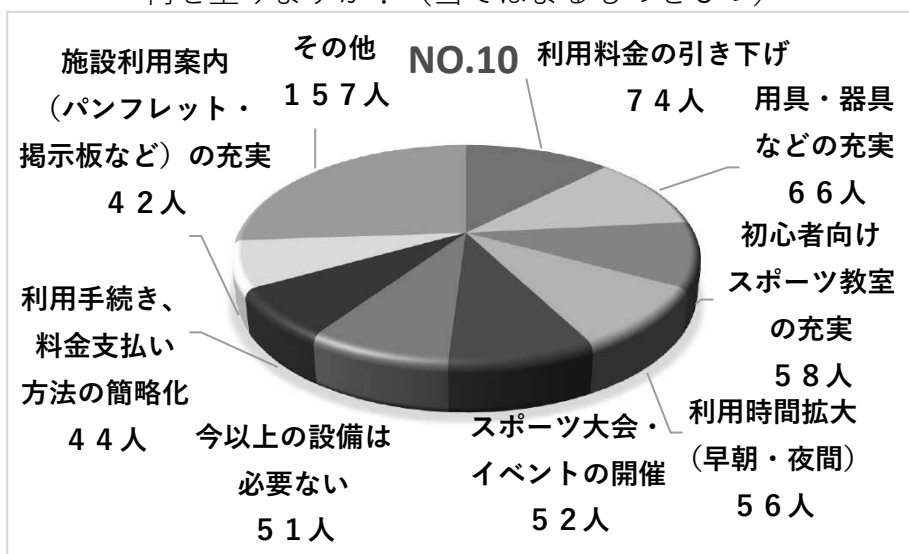
No.8 No.7で「どちらかという満足していない」、「満足していない」と回答された方にお尋ねします。満足していない主な理由は何ですか？
(当てはまる主な理由を3つ)



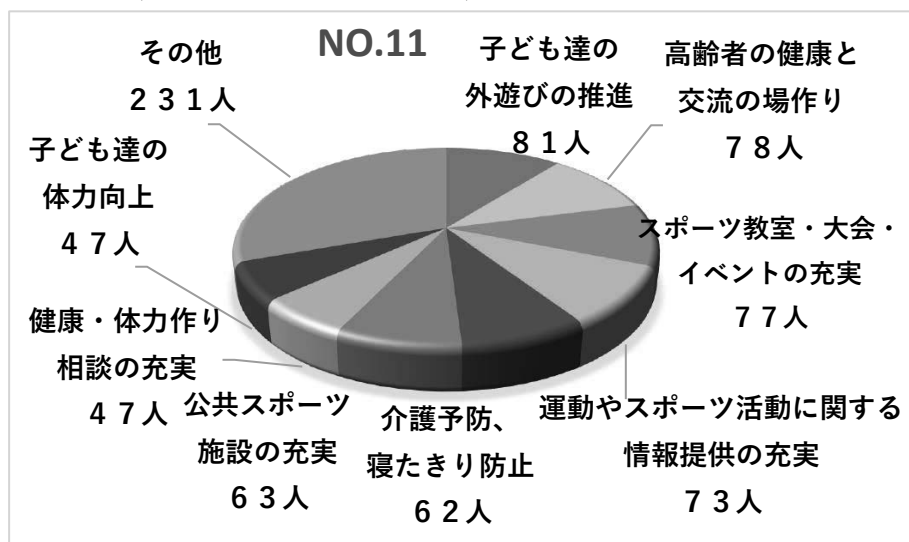
No.9 No.8でお答えいただいた理由が解決するとしたら、運動やスポーツ活動をしたしたいと思いますか？



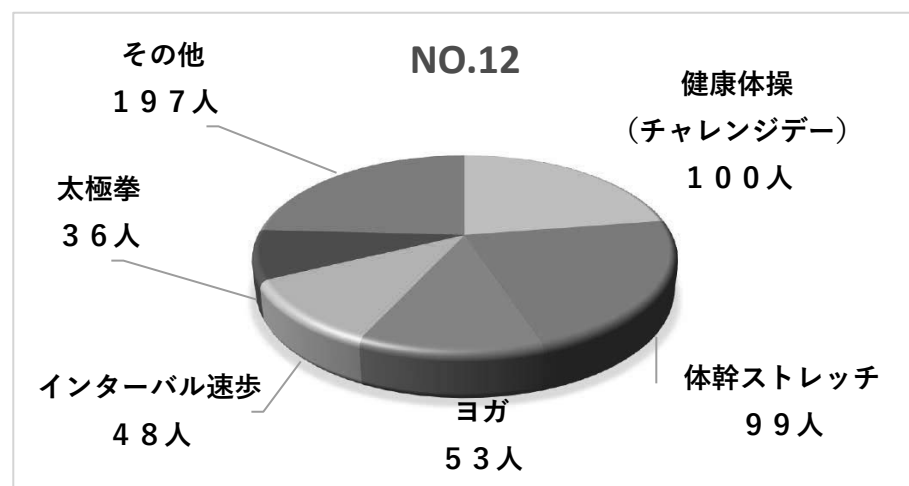
No.10 あなたは、市のスポーツ施設の管理・運営について何を望みますか？（当てはまるものを3つ）



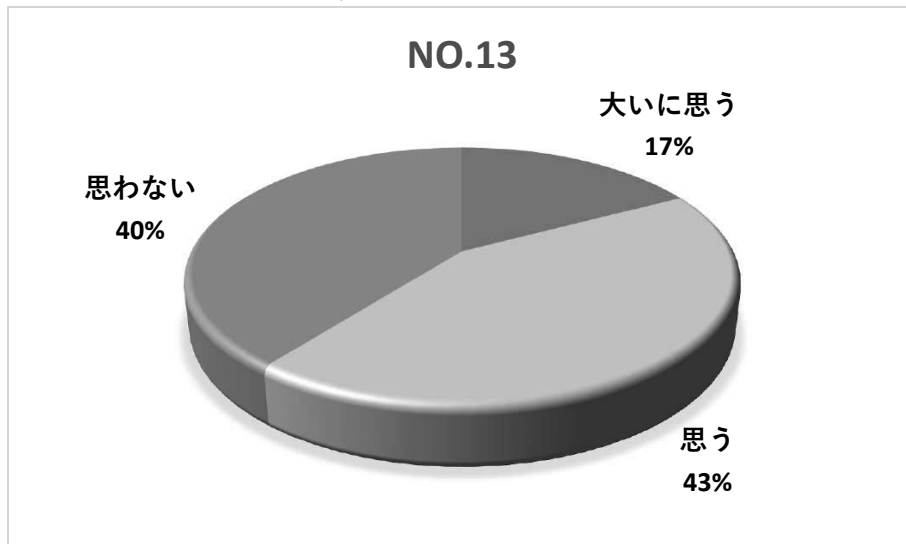
No.11 あなたはスポーツ振興について今後、どのような点に力を入れて欲しいと思いますか？（当てはまるものを3つ）



No.12 あなたが利用してみたいと思うスポーツ教室は何ですか？（当てはまるものを3つ）

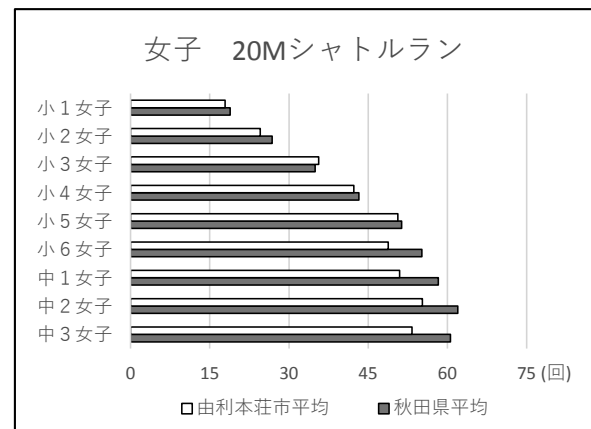
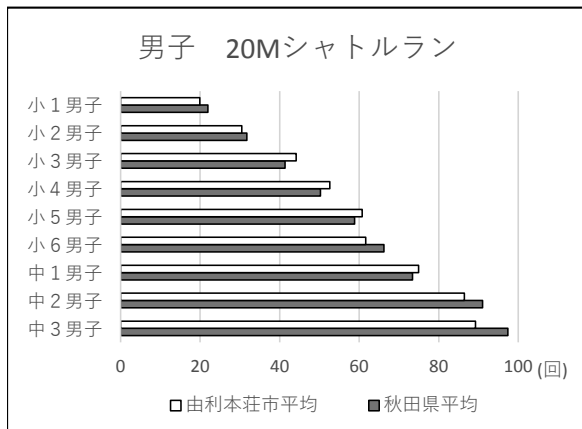
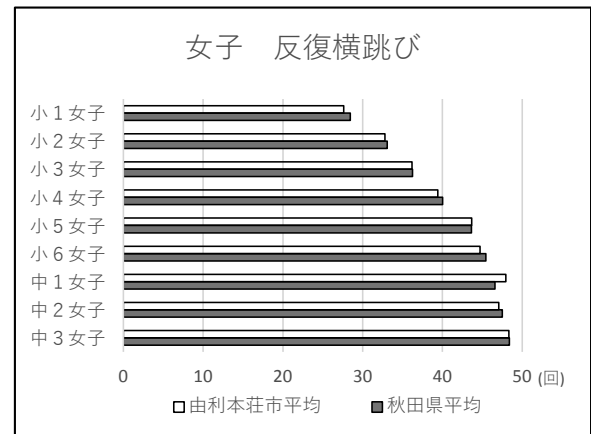
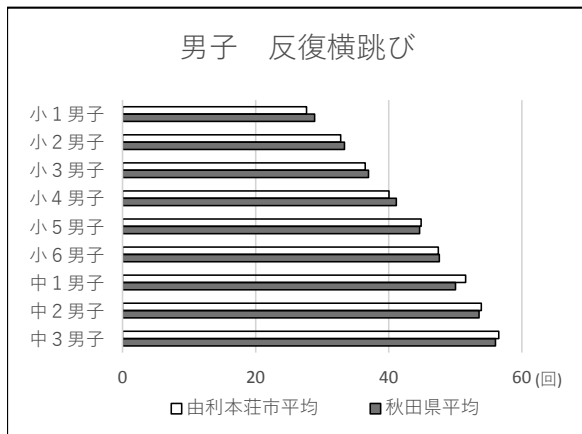
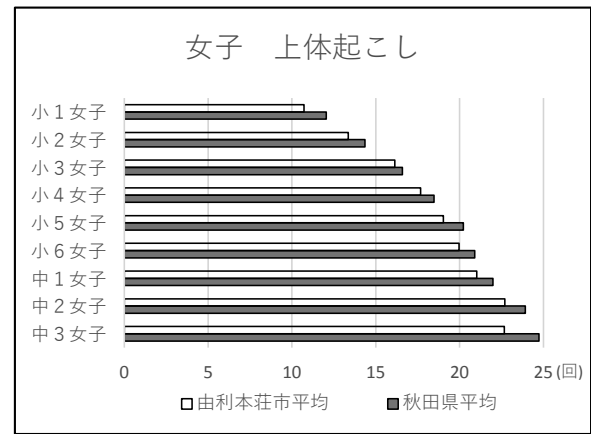
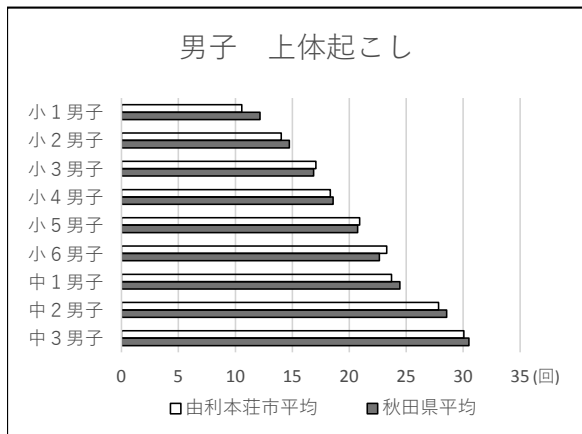
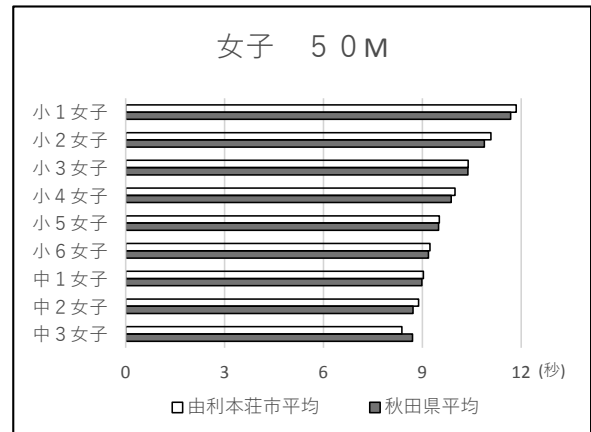
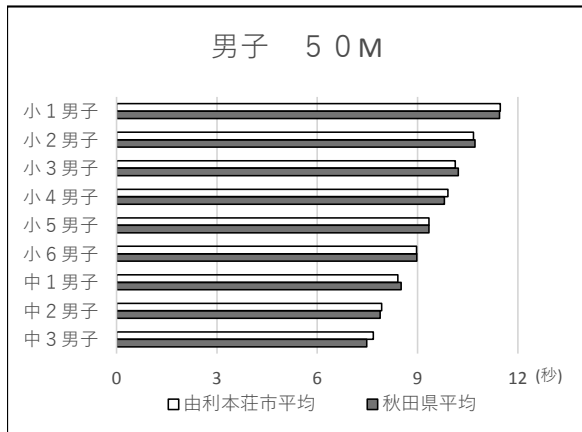


No.13 平成30年に由利本荘アリーナ（仮称）が
完成しますが、あなたは利用したいと思いますか？



2 由利本荘市小・中学生新体力テスト結果(H27)

〔平成27年度 新体力テスト結果(秋田県)より〕



3 由利本荘市社会体育施設及び関連施設

H28. 4. 1現在

施設の名称	設置場所	設置・建設年月	施設の概要
本荘由利総合運動公園 野球場	水林268 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 53年 3月	面積13,000㎡、両翼98m、中堅122m、本塁後方20m、全面人工芝、電光掲示板、1種公認、収容5,000人、駐車場290台
本荘由利総合運動公園 陸上競技場	水林379 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 55年 3月	敷地面積23,500㎡、1周400mトラック(全天候舗装)、サッカー兼用フィールド100m×65m、3種公認、収容10,000人(メイン1,000人、芝9,000人)
本荘由利総合運動公園 テニスコート	水林379 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 55年 3月	敷地面積4,000㎡、全天候型4面、駐車場200台
鶴舞球場	切通地内 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 59年 3月	広場面積16,370㎡、ソフトボール2面、野球、サッカー、照明施設
本荘プール	蟻山1 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 49年 5月	50m×19.4m(8コース)、25m×12m(5コース)、水深1m50cm、1,500㎡、幼児プール157㎡、水深90cm～1m10cm
大手門温水 プール「遊泳館」	尾崎23 (直)☎24-0134	平成 14年11月	総面積1,882㎡、25m×12m(6コース)、水深1m20cm、リラクゼーションプール、子供用プール55cm、歩行用プール1m
石脇体育館	石脇字弁慶川2 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 55年 3月	延床面積1,370㎡、バスケットボール1面(家庭バレーボール2面)、事務室
石脇公園 グラウンド	石脇字弁慶川地内 (問)都市計画課 ☎24-6332	昭和 56年 3月	広場面積17,000㎡
石脇公園 テニスコート	石脇字弁慶川地内 (問)都市計画課 ☎24-6332	昭和 56年 3月	面積1,600㎡、テニス2面
本荘第二体育館	桜小路1-5 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 59年 3月	延面積744.60㎡、フロア面積660㎡(30m×22m)、バスケットボール1面、バレーボール1面
本荘格技場	桜小路1-5 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 53年 3月	柔道場・剣道場各1面、延面積446.30㎡、指導者室、更衣室等
尾崎グラウンド	桜小路1-5 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 5年 3月	野球場一面
松涛公園 グラウンド	石脇字石ノ花、田尻野地内 (問)都市計画課 ☎24-6332	昭和 50年12月	広場面積34,158㎡ ソフトボール2面、遊園地
由利本荘市 コミュニティ 体育館	美倉町30 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 26年 3月	延床面積893.76㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面、バトミントン2面、テニス1面
トリムランニング コース	本荘公園内 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 54年 3月	公園内1周3kmコース、距離標識付き

施設の名称	設置場所	設置・建設年月	施設の概要
鶴舞会館体育室	瓦谷地1 (問)鶴舞会館 ☎24-2911	昭和 56年 5月	フロア面積415.76㎡、バレーボール1面、 バドミントン2面
松ヶ崎運動広場	神沢字大森山 (問)松ヶ崎公民館 ☎28-2001	昭和 47年11月	広場面積5,091㎡、1周200m、サッカー1 面(ソフトボール1面)
南内越コミュニ ティ体育館	川口字愛宕山150 (問)南内越公民館 ☎22-0316	昭和 53年 7月	総面積1,100㎡、フロア面積704㎡、バスケ ットボール1面(バレーボール2面、バド ミントン4面)、事務室、集会室等
南内越プール	川口字愛宕山137-2 (問)南内越公民館 ☎22-0316	昭和 44年 7月	25m×9m、幼児プール50㎡、水深1m～1 m10cm
南内越運動広場	川口字愛宕山150 (問)南内越公民館 ☎22-0316	昭和 46年11月	広場面積3,164㎡
子吉公民館 体育室	埋田字用堰北17 (問)子吉公民館 ☎22-0425	昭和 57年11月	フロア面積408㎡、バレーボール1面、バ ドミントン2面
子吉公民館前 運動広場	埋田字用堰北17 (問)子吉公民館 ☎22-0425	昭和 59年 6月	広場面積2,000㎡、ソフトボール1面(ゲ ートボール2面)
葛法運動広場	葛法字長橋上107 (問)スポーツ課 ☎32-1334	昭和 53年 5月	広場面積1,816㎡
小友地区健康 増進センター	三条字三条谷地70-1 (問)小友公民館 ☎22-0318	昭和 63年 7月	建物総面積1,095.2㎡、フロア面積(アリー ナ)671.2㎡、バスケットボール1面(バ レーボール2面、バドミントン2面)、事務 室、更衣室、会議室等
松ヶ崎体育館	松ヶ崎字荒町北側地内 (問)松ヶ崎公民館 ☎28-2001	平成 7年 3月	建物総面積1,251㎡、フロア面積(アリー ナ)738㎡、バスケットボール1面、バレー ボール1面、バドミントン3面、テニス1面、 事務室、研修室、交流室
北内越公民館 講堂	内越字平岡304-1 (問)北内越公民館 ☎22-0319	平成 5年 3月	フロア面積563.92㎡、バレーボール2面、 バドミントン2面
北内越体育館	内越字中ノ目209 (問)北内越公民館 ☎22-0319	昭和 50年 9月	鉄骨造627㎡、バスケットボール1面
北内越運動広場	内越字中ノ目209 (問)北内越公民館 ☎22-0319	昭和 51年 9月	11,822㎡
光風園相撲場	砂糖畑地内 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 11年 4月	相撲櫓場建築面積70.8㎡、床面積55.5㎡、 管理棟建築面積60.8㎡、床面積55.9㎡

施設の名称	設置場所	設置・建設年 月	施設の概要
本 荘 弓 道 場	水林265 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 17年 3月	近的12人立ち、射場床面積 1階646.20㎡、 2階290.25㎡、的場・矢取り通路337.20㎡、 木造2階建一部鉄骨造り、射場1階部分 男女更衣室、用具室、巻藁室、事務室、審 判控室、射場、射場2階部分 110畳和室(選 手控室)
田 頭 河 川 敷 運 動 公 園	石脇字田頭207 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 15年 5月	芝生広場6,500㎡(グラウンドゴルフ、フラ イニングディスク等)
石 沢 体 育 館	館字六角168 (問)石沢公民館 ☎29-2111	昭和 54年12月	鉄骨平屋建835㎡ 床面積813.75㎡
石 沢 運 動 広 場	館字六角168 (問)石沢公民館 ☎29-2111		広場面積10,079㎡
ソフトボール場	荒町字荒町下地内 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 18年 6月	面積14,236.6㎡、両翼80m 2面、管理棟、 トイレ棟、駐車場(普通車26台、大型車6台、 障害者用3台)、照明施設8基
芋川桜つつみ パークゴルフ場	内黒瀬字新荒町地内 (問)スポーツ課 ☎32-1334	平成 18年 9月	面積12,000㎡、18ホール、管理棟、駐車場 30台(普通車29台、障害者用1台)
矢 島 多 目 的 運 動 広 場	矢島町七日町字上山寺34-2 (問)矢島教育学習課 ☎56-2203	平成 5年 6月	面積13,300㎡、両翼98m、中堅122m、更 衣室、照明施設
矢 島 ソフトボール場	矢島町七日町字上山寺20-1 (問)矢島教育学習課 ☎56-2203		面積12,600㎡
矢島屋内運動場	矢島町七日町字羽坂173 (問)矢島教育学習課 ☎56-2203	平成 8年 3月	鉄筋平屋建1,195㎡、ミーティングルーム
矢 島 格 技 場	矢島町矢島町1 (問)矢島教育学習課 ☎56-2203	平成 21年12月 県より移管	木造平屋建366.9㎡、剣道場、柔道場、ト イレ、床面積337㎡
矢 島 体 育 セ ン タ ー	矢島町七日町字上山寺54-1 (問)矢島勤労青少年ホーム ☎56-2540	昭和 57年 3月	鉄筋平屋建1,105.5㎡、ミーティングルーム ム、更衣室
花立牧場公園 パークゴルフ場	矢島町城内字花立地内 (問)花立観光施設管理棟 ☎56-2915	平成 4年 3月	面積1,698㎡、全8ホール
鳥海高原矢島 ス キ ー 場	矢島町荒沢字長保田6 (直)☎56-2182	昭和 59年 9月	ゲレンデ534,947㎡、4人乗クワッドリフト、 総延長2,329m、最長コース1,300m、ナイ ターコース950m、無料休憩所、レストラ ン
サンスポーツラ ンド岩城野球場	岩城内道川字新鶴潟3-11 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 3年 6月	RC造13,800㎡、両翼100m、中堅120m
岩 城 多 目 的 グ ラ ウ ン ド	岩城亀田亀田町字亀田町28-3 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	昭和 59年	面積13,600㎡

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	施設 の 概 要
スパーク岩城	岩城亀田大町字地蔵坂57-1 (問)亀田出張所 ☎72-2001	平成 5年 3月	面積1,180.06㎡、屋内ゲートボール場(2面)
滝俣多目的屋内 体 育 施 設	岩城滝俣字谷地182-1 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 8年 4月	木造平屋建448㎡
二古多目的屋内 体 育 施 設	岩城二古字向村31-2 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 8年 4月	木造平屋建460.42㎡
勝手多目的屋内 体 育 施 設	岩城勝手字中島16-142 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 8年 4月	木造平屋建448㎡
上新谷多目的屋 内 体 育 施 設	岩城勝手字石長根1-15 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 8年 4月	木造平屋建448㎡
南沢多目的屋内 体 育 施 設	岩城六呂田字梅ノ木58 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 8年 4月	木造平屋建448㎡
サンスポーツラ ンド岩城テニス コ ー ト	岩城内道川字新鶴潟11-4 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 3年 6月	面積2,344㎡、人工芝コート6面
岩城総合体育館	岩城内道川字新鶴潟50 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 3年 7月	鉄骨一部RC造2階建3,247.66㎡、フロア面積1,360㎡(40m×34m)、バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面
亀 田 体 育 館	岩城亀田亀田町字亀田町93 (問)亀田出張所 ☎72-2001	昭和 59年 3月	鉄骨2階建1,077.48㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面
岩 城 パ ー ク ゴ ル フ 場	岩城内道川字新鶴潟2-3 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 9年 3月	面積17,800㎡、芝生4コース36ホール
高 城 体 育 館	岩城亀田亀田町字亀田町18-2 (問)岩城教育学習課 ☎73-2468	平成 10年	鉄骨造979㎡、バスケットボール2面、バレーボール2面
由利運動公園	前郷字根堀台134 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 2年 8月	面積44,986㎡、ソフトボール場1面(両翼69m)、ふれあい広場1面、チビッ子広場1面、ハイキングロード(各施設周囲)、管理棟1棟、駐車場260台
由利運動公園 サ ッ カ ー 場	前郷字根堀台134 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 2年 8月	面積6,400㎡、サッカー場1面
由利運動公園 ゲートボール場	前郷字根堀台134 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 2年 8月	面積1,021㎡、ゲートボール場(屋外2面、屋内2面)
由利運動公園 テニスコート	前郷字根堀台134 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 2年 8月	面積2,778㎡、テニスコート4面、壁打コート3面

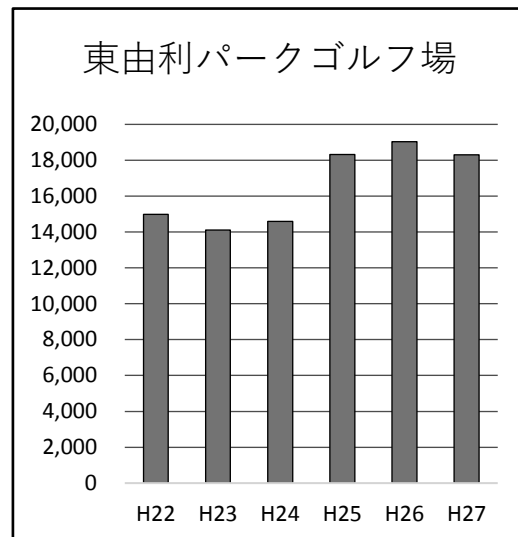
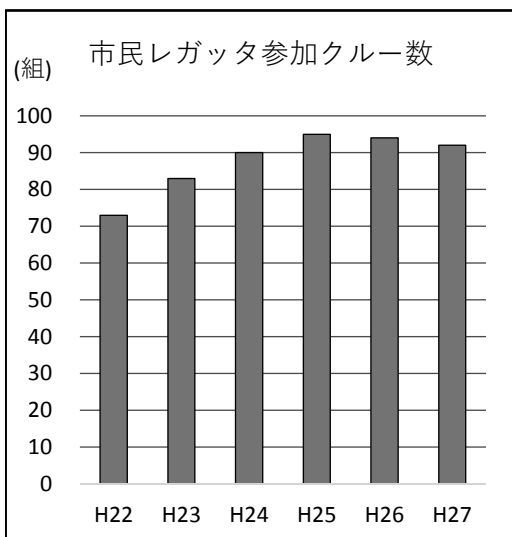
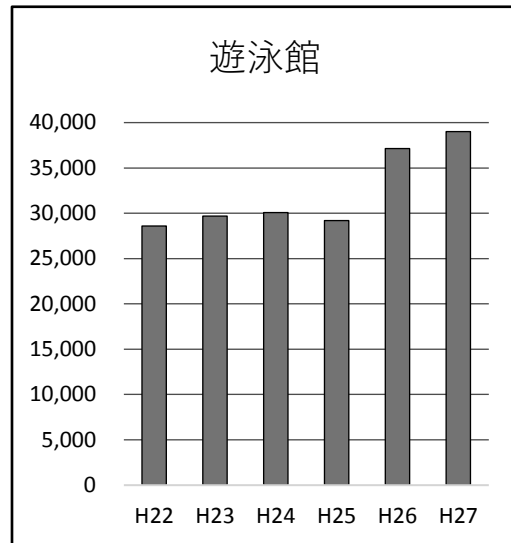
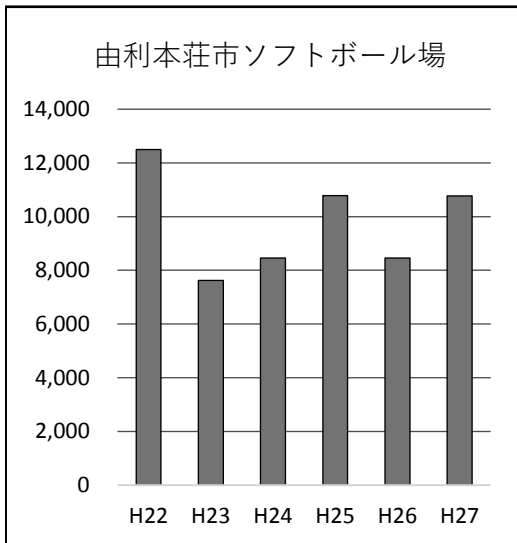
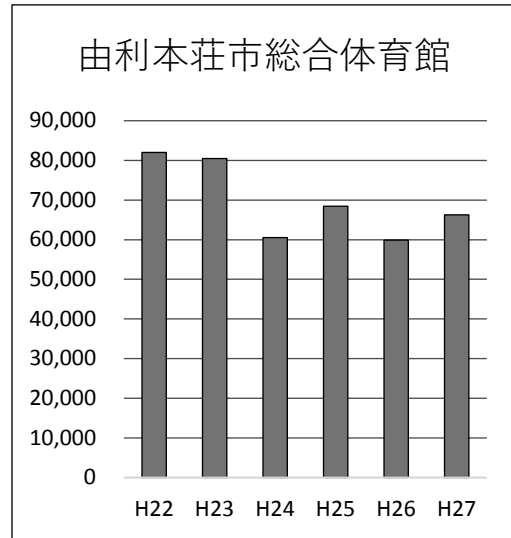
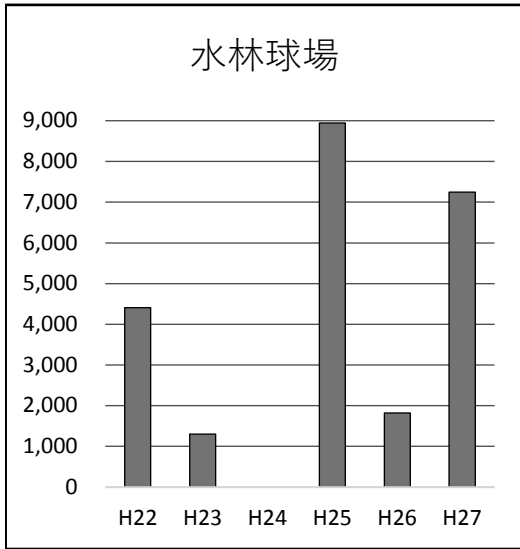
施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	施設の概要
由利緑地公園	黒沢字山本68 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 5年 3月	面積66,770㎡、多目的グラウンド、チビッコ広場、管理棟(木造平屋建、器具室)、駐車場200台
B&G由利海洋 センター	前郷字御伊勢下39-2 (直)☎53-3166	平成 5年 6月	鉄筋コンクリート一部2階建2,672㎡(内プール833㎡)、体育館(アリーナ)、第2体育館(トレーニングルーム)、床面積1,144㎡、男女各温水シャワー付更衣室、駐車場160台
由利体育館	前郷字御伊勢下1 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	昭和 50年 3月	鉄骨一部2階建1,550.00㎡、体育室932.88㎡(33.8m×27.6m)、バレーボール2面、テニス1面、ステージ、控室、更衣室
由利武道館	前郷字家岸上堤83 (問)由利教育学習課 ☎53-2245	平成 2年10月	鉄骨平屋建813.54㎡、剣道場1面(小コート2面)、柔道場1面(専用畳98畳)、事務室、会議室、更衣室
大内山村広場	小栗山字森ノ腰53 (問)上川大内出張所 ☎67-2301	昭和 58年	面積9,726㎡、両翼90m、中堅115m、本塁後方18.3m、外野フェンスH2.5m、駐車場48台
岩谷広場	岩谷町字日渡100 (問)大内公民館 ☎65-2210	昭和 45年	面積1,000㎡、ゲートボールコート4面、夜間照明
大内農村広場	中館字堤台76-4 (問)堤台スポーツエリア 管理棟 ☎65-2001	昭和 60年	面積15,910㎡、グラウンド174m×91m(サッカー・野球)、駐車場200台
葛岡広場	葛岡字葛岡90 (問)どまらんど大内 ☎66-2950	平成 10年	グラウンドゴルフ面積14,200㎡16ホール、ゲートボール面積5,385㎡4面
どまらんど大内	葛岡字葛岡92 (直)☎66-2950	平成 8年	面積1,916㎡、ゲートボール4面(グラウンドゴルフ兼用)、(冬期間)野球・ソフトボール練習可 ※練習内容に制限あり
大内テニスコート	中館字堤台76-3 (問)堤台スポーツエリア 管理棟 ☎65-2001	昭和 62年	面積3,539㎡、全天候透水型コート4面、照明施設10基、ラケット・ボール貸出無料
B&G大内海洋 センター	中館字堤台2 (直)☎65-3583	昭和 60年	25m×13m、幼児プール6m×10m(6月～9月使用)、艇庫、OPヨット8艘、カヌー12艘、12Fヨット4艘、ローボート6艘、ダブルスカル1艘、330セールボード4艘
岩谷体育館	岩谷町字日渡100 (問)大内教育学習課 ☎65-2210	昭和 45年	アリーナ21.0×31.5=661.5㎡(バスケットボール1面、バレーボール2面)、柔道場30枚常設
松本体育館	松本字小及位野78 (問)下川大内出張所 ☎66-2001	昭和 57年3月	アリーナ22m×33m=726㎡、ミニバスケットボール1面、卓球、フットサル

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	施設の概要
小栗山体育館	小栗山字小栗山76-1 (問)上川大内出張所 ☎67-2301	昭和 57年3月	アリーナ22m×33m=726㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面)、サロン、休憩室(和室)、トレーニングルーム
由利本荘市 総合体育館	岩谷町字西越62 (直)☎62-0500	平成 17年 8月	床面積5,864.32㎡、各種公式戦開催条件対応施設、(バレーボール・バスケットボール・卓球・バドミントン・フットサル・柔道・剣道・空手道・銃剣道)、メインアリーナ、サブアリーナ、ミーティングルーム、トレーニングルーム、会議室
大内弓道場	中館字堤台76-3 (問)堤台スポーツエリア 管理棟 ☎65-2001	昭和 62年	面積111㎡、近的6人立ち
長坂スキー場	長坂字大霜38-3 (直)☎66-2526	昭和 62年	Tバーリフト250m、照明施設10基、駐車場50台、レストハウス
東由利野球場	東由利老方字台山4 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	平成 2年 6月	面積19,922㎡、両翼91m、中堅114m、管理棟(RC造、コンクリート陸屋根)、ダックアウト、内野スタンド、スコアボード、バックスクリーン、照明施設4基
東由利運動場	東由利老方字台山23 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	昭和 51年改修	面積16,068㎡、多目的クレイグラウンド、野球場1面、200mコース1面
東由利屋内運動 広場「げんき館」	館合字代山83 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	平成 5年 6月	鉄骨造1,410㎡、人工芝コート(ゲートボール2面、テニス1面)、休憩室、事務室、器具庫1,258㎡
東由利プール	東由利老方字台山50 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	平成 11年 6月	鉄骨造、可動式上屋付936㎡、25m(6コース、内1コースは幼児用プールのスペース設置)談話室、シャワー室、ロッカー室、管理人室
東由利体育館 (東由利健康 増進センター)	東由利老方字台山43 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	昭和 61年12月	鉄骨一部2階建1,243㎡、アリーナ736㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン3面、卓球場(ステージ)、休憩室、管理人室、トレーニングルーム、ミーティングルーム
八塩いこいの森 パークゴルフ場	東由利田代字深山地内 (問)センターハウス ☎69-2332	平成 15年12月	面積36,900㎡、4コース36ホール
大平スキー場	東由利宿字湯ノ沢80 (問)東由利教育学習課 ☎69-2310	昭和 56年12月	ゲレンデ 約100,000㎡、ヒュッテ1棟(298㎡)、Tバーリフト4基、ナイター照明16基
西目サッカー場	西目町出戸字浜山6-1 (問)西目教育学習課 ☎33-2315	平成 15年 1月	サッカー場1面(天然芝)105m×68m、駐車場7,396㎡(261台収容、うち大型バス8台)、メインスタンド1,689.90㎡(倉庫165.48㎡、選手控室156.00㎡、会議室46.00㎡、その他1,322.42㎡、観客席1,198人、車イス専用4席、ロイヤルボックス10席含)

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	施設の概要
西目テニス コート	西目町出戸字浜山6-1 (問)西目教育学習課 ☎33-2315	平成 15年 1月	オムニコート2面、観客席(芝生スタンド) 3,500㎡、駐車場20台
B&G西目海洋 センター	西目町沼田字新道下2-682 ☎33-4128	昭和 59年 6月	25m×12.5m(6コース)、幼児プール10m ×6m、アリーナ30.90m×23.50m、トレ ーニングルーム15.60m×29.25m
西目弓道場 「無想館」	西目町沼田字西潟356-1 (問)西目教育学習課 ☎33-2315	平成 14年11月	近的6人立ち、射場 木造瓦葺き平屋建(射 場、審判席、控室、弓具室、床面積178.87 ㎡)、的場 木造瓦葺き平屋建(安土、看的 所床面積59.62㎡)、矢道、芝張り(両面植 栽)、駐車場
西目多目的広場	西目町出戸字浜山6-1 (問)西目教育学習課 ☎33-2315	平成 15年 1月	4コース(32ホール)グラウンドゴルフ、 ターゲットバードゴルフコース、芝張り、 駐車場
鳥海球場	鳥海町上川内字西野108 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	平成 12年 8月	面積13,740㎡、両翼100m、中堅122m、収 容3,400人、駐車場167台、電光掲示板 (LDE式、磁気反転式)、照明施設6基
鳥海上原野球場	鳥海町下川内字上原13-28 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	昭和 55年 8月	面積10,513㎡、両翼90m、中堅110m、収 容500人、駐車場60台
鳥海健康広場	鳥海町伏見字折切30 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	平成元年 2年 4月 テニスコート	ソフトボール場(両翼、中堅70m)1面、ゲ ートボール場2面、テニス2面(夜間照明 4基)、野外ステージ、四阿10,887㎡
笹子交流広場 「つきやま」	鳥海町上笹子字石神15 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	平成 5年10月	多目的広場1面、ゲートボール場2面、休 憩棟、四阿19,122㎡
鳥海トレー ニングセンター	鳥海町伏見字折切38-3 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	昭和 57年 6月	鉄骨造1,490㎡、アリーナ1,044.68㎡、ト レーニングルーム、ステージ、管理室、事 務室、放送室
鳥海射撃場	鳥海町上川内字提鍋沢30-1 (問)鳥海教育学習課 ☎57-2881	昭和 57年 8月	トラップ及びビスキート射撃、ラビット射撃、 ライフル射撃

4 由利本荘市内の主な施設利用者数の推移

〔平成22年度～平成27年度〕



5 由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）

平成28年9月23日

由利本荘市教育委員会 様

由利本荘市スポーツ振興計画策定委員会
委員長 工 藤 兼 雄

由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）

標記の件について、当策定委員会で慎重に審議を重ねた結果、別添の内容のとおり結論を得ましたので、ご報告申し上げます。

なお、計画の推進にあたっては、関係機関等と十分な連携を図られるよう望みます。

6 由利本荘市スポーツ振興計画策定委員名簿

No.	職名	氏名	所属機関・役職等
1	委員長	工藤兼雄	由利本荘市体育協会 会長
2	副委員長	三船文樹	由利本荘市スポーツ推進委員会 委員長
3	委員	伊藤恵造	秋田大学教育文化学部 准教授
4	委員	村岡淑郎	由利本荘市観光協会 会長
5	委員	阿部タツ子	由利本荘市婦人団体連絡協議会 会長
6	委員	眞坂善榮	由利本荘市老人クラブ連合会 会長
7	委員	相庭安一	由利本荘市スポーツ少年団 本部長
8	委員	佐藤眞喜雄	秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長
9	委員	糸山芳雄	学識経験者
10	委員	越後谷真悦	由利高等学校 校長
11	委員	和賀哲	本荘由利中学校体育連盟 会長
12	委員	織田羽衣子	由利本荘市校長会 副会長

(敬称略)

7 由利本荘市スポーツ振興計画策定委員会の経過

平成28年	
1月27日	検討部会（庁内関係各課長） （策定スケジュール・策定委員・策定部会について審議）
2月8日	第1回策定委員会・検討部会 （委員へ委嘱状交付・設置要綱承認・委員長、副委員長選任・策定方針について協議）
3月14日	スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート送付
3月15日	第2回策定委員会・検討部会（ワークショップ） （スポーツに関する現状整理・現状に対する改善策や必要な取り組み）
4月20日	アンケート〆切 （アンケート集計） 素案作成
7月25～28日	検討部会（庁内関係各課長）（素案協議）
7月25日	教育委員会7月定例会（素案提示） （振興計画策定委員へ素案送付）
7月26日	議会教育民生常任委員会（素案提示） （全議員へ配布）
8月2日	第3回策定委員会・検討部会（素案協議）
8月3日	市議会全員協議会（素案提示） 修正案作成
8月8日	教育委員会臨時会（修正案送付8/10）
8月26日	第4回策定委員会・検討部会（修正案協議）
8月29日	市議会全員協議会（修正案提示） 最終案作成
9月23日	第5回策定委員会（最終案協議・決定）
9月29日	教育委員会定例会（最終案報告・承認）